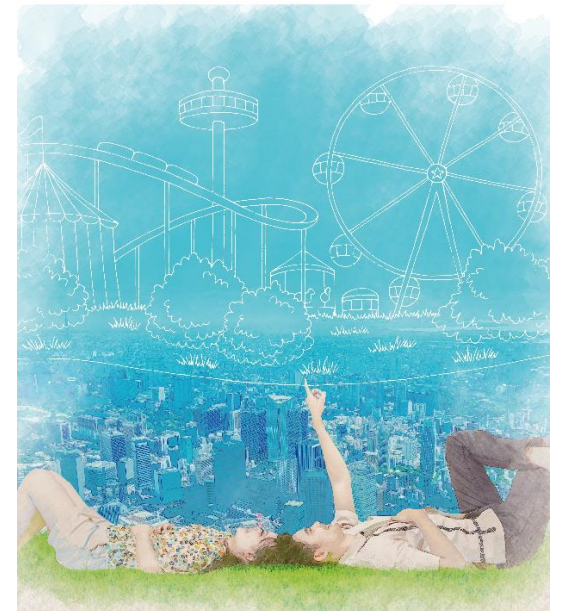


2022年度第1四半期決算

2022年8月5日

SOMPOホールディングス株式会社



業績ハイライト（2022年度第1四半期） 2

KPIアップデート 3

1. 連結業績

2022年度第1四半期決算概況（連結） 5

決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン） 6

決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン） 7

決算のポイント③ 連結経常利益 8

決算のポイント④ 連結純利益 9

（参考）2022年度通期業績予想（連結） 10

（参考）2022年度通期業績予想のポイント 11

（参考）通期業績予想（連結経常利益）のブレイクダウン 12

（参考）過去の業績進捗状況 13

（参考）経営数値目標等 14

2. 国内損保事業

2022年度第1四半期決算概況（損保ジャパン） 16

正味収入保険料 17

正味損害率（アード・インカード） 18

（参考）正味損害率（リターン・ペイド） 19

正味事業費率 20

コンバインド・レシオ 21

資産運用損益 22

（参考）資産運用粗利益の内訳 23

（参考）自動車保険関連の指標 24

（参考）火災保険、新種保険関連の指標 25

（参考）国内自然災害 26

（参考）責任準備金・支払備金 27

（参考）2022年度通期業績予想（損保ジャパン） 28

3. 海外保険事業

業績概況（海外保険事業） 30

業績詳細 31

（参考）SIコマースの業績概況（トップライン） 32

（参考）SIコマースの業績概況（コンバインド・レシオ） 33

（参考）SIコマースの決算数値 34

4. 国内生保事業

業績概況（ひまわり生命） 36

（参考）当期純利益 37

（参考）修正利益・修正純資産 38

（参考）保有契約年換算保険料・一般事業費 39

（参考）決算数値 40

5. 介護・シニア事業

業績概況（介護・シニア事業） 42

（参考）SOMPOケアの主要指標 43

6. ERM・資産運用

財務健全性：ESR（99.5%VaR） 45

（参考）実質自己資本・リスク量のブレイクダウン 46

資産ポートフォリオ（グループ連結ベース） 47

（参考）資産ポートフォリオ（主要各社別） 48

為替レート（米ドル/円）

2022年度第1四半期	136.68円（対前年：+23.6%）	2022年6月末
	- 海外保険事業 122.39円（対前年：+10.6%）	2022年3月末
2022年度 通期業績予想	122.39円	2022年3月末

※ SIコマースはSompoインターナショナルのコマース部門を指す（以下同様）

業績ハイライト（2022年度第1四半期）

- 正味収入保険料は、SIコマーシャルの大幅増収を主因に+1,795億円増（+20.6%増）の1兆521億円
- 損保ジャパンでは、保険引受利益における国内自然災害の発生や新型コロナ影響の一部剥落を、資産運用粗利益の増益で一部オフセット、SIコマーシャルの増収効果もあり、連結純利益は417億円（△165億円減益）と計画どおりの進捗
- 株主還元原資となる修正連結利益は、639億円（業績予想に対する進捗率：25%）

損保ジャパン

- 国内自然災害の発生や新型コロナ影響（自動車保険損害率低下効果）の一部剥落などにより、保険引受利益は8億円
- 政策株式を着実に削減（126億円）、これによる有価証券売却益の増加を主因に、資産運用粗利益は+95億円増益の432億円
- 当期純利益は△149億円減益の318億円となるも、計画どおりの進捗

SIコマーシャル

- 計画を上回るレートアップや、農業保険で作物価格の上昇や保有比率引き上げによる増収を実現したことなどを背景として、正味収入保険料は+1,512億円（+56.4%、ドルベースでは+41.4%）と大幅増収
- 増収効果に加え、海外自然災害が減少したこともあり、コンバインド・レシオは△3.2pt改善し、91.0%
- 修正利益は+78億円増益の219億円、計画に対して順調な推移

ひまわり生命

- Insurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は引き続き拡大
- 新型コロナによる保険金等の増加影響を除くと、修正利益は着実に増益（対前年+1億円）

SOMPOケア

- 入居率改善やネクサスケア社の統合効果により売上高が拡大、修正利益は+3億円増益

国内損保

	2022年度第1四半期	2022年度予想	2023年度計画
事業別修正利益	364億円	1,200億円	1,500億円以上
正味収入保険料※1	5,198億円	19,876億円	20,000億円
E/I コンバインド・レシオ※1	95.5%	93.7%	91.7%
政策株式削減	126億円	500億円	500億円/年 3年間累計：1,500億円

海外保険

	2022年度第1四半期	2022年度予想	2023年度計画
事業別修正利益	200億円	1,000億円	1,000億円以上
グロス保険料 成長率※4	+12.2%	+4.8%	年率+9%程度
E/I コンバインド・レシオ※4	91.0%	90.7%	88%台

国内生保

	2022年度第1四半期	2022年度予想	2023年度計画
事業別修正利益	57億円	350億円	400億円以上
新契約 年換算保険料※2	88億円	460億円	500億円
保有契約件数	451万件	472万件	500万件
ALM資産投入額※3	1,298億円	3,000億円	3,000億円/年 3年間累計：9,000億円

介護・シニア

	2022年度第1四半期	2022年度予想	2023年度計画
事業別修正利益	14億円	60億円	80億円以上
売上高	367億円	1,511億円	1,620億円
入居率	91.6%	92.9%※5	93.8%※5

※1 損保ジャパン（除く自賠責・家計地震） ※2 営業成績ベース ※3 30年債換算 ※4 SIC商業、ドルベース ※5 年度末時点

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

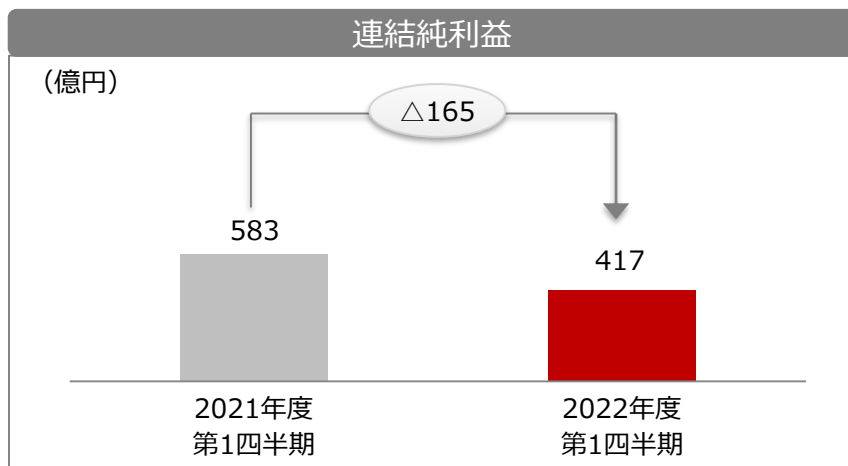
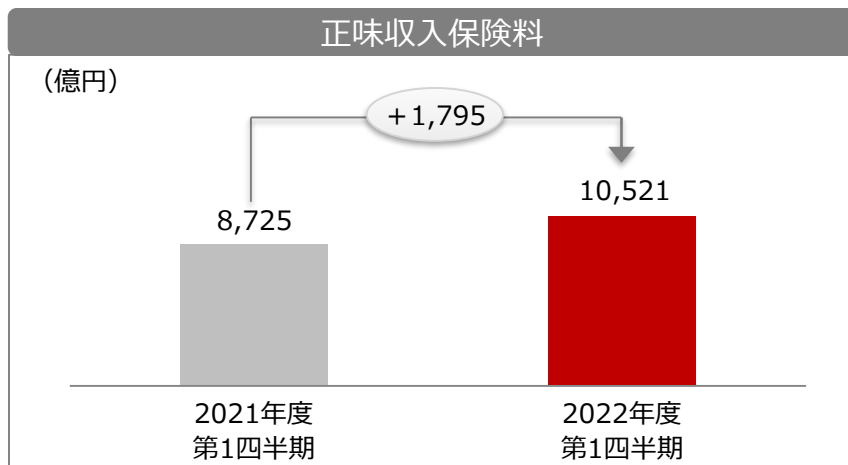
4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

2022年度第1四半期決算概況（連結）

- 正味収入保険料は、SIコマーシャルの大幅増収に加え、火災保険や新種保険を中心とした損保ジャパンでの拡大により、+1,795億円増収
- 連結経常利益および連結純利益は、計画どおりに進捗



(単位: 億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減	2022年度 (予想)
連結経常収益	10,814	12,865	+2,051 (+19.0%)	-
正味収入保険料	8,725	10,521	+1,795 (+20.6%)	34,410
生命保険料	755	744	△11 (△1.5%)	3,270
連結経常利益	783	552	△230	2,350
損保ジャパン	614	412	△202	1,875
海外グループ会社※1	198	216	+17	1,245
ひまわり生命	73	0	△73	158
SOMPOケア	16	16	△0	89
その他・連結調整等※1※2	△120	△93	+26	△1,018
連結純利益※3	583	417	△165	1,600
損保ジャパン	467	318	△149	1,450
海外グループ会社※1	167	172	+4	952
ひまわり生命	50	△1	△52	105
SOMPOケア	10	13	+2	55
その他・連結調整等※1※2	△112	△84	+28	△963
(参考) 修正連結利益	887	639	△247	2,600
国内損保事業	608	364	△244	1,200
海外保険事業	171	200	+29	1,000
国内生保事業	94	57	△37	350
介護・シニア事業	10	14	+3	60
デジタル事業等	2	3	+1	10

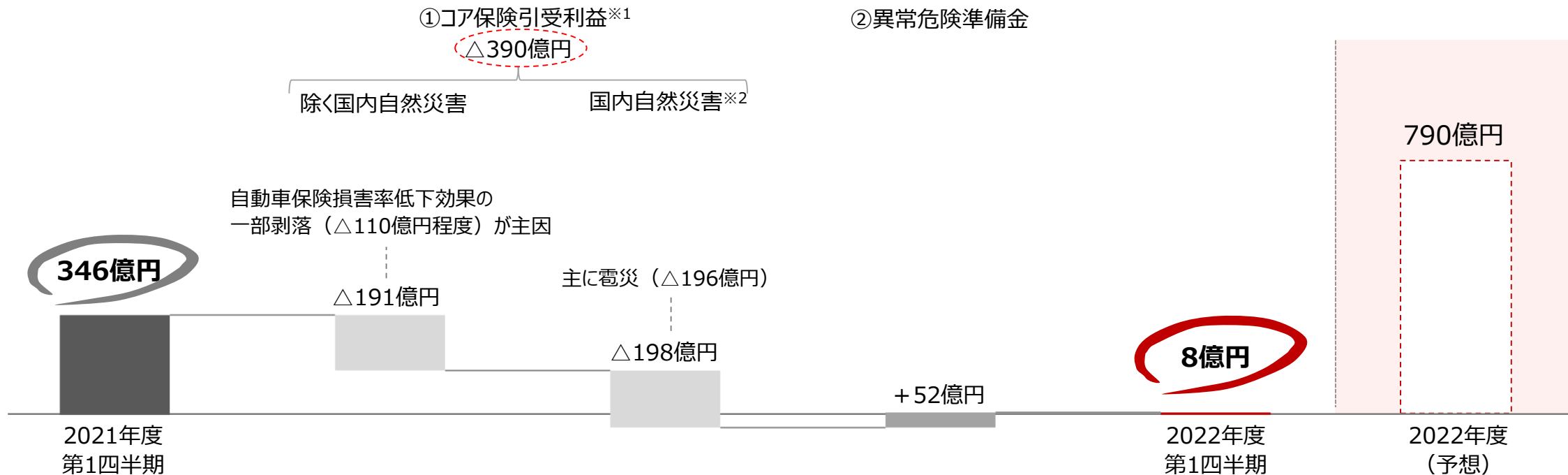
※1 SIにかかる会計基準差異の修正影響（税前584億円、税後488億円）を調整

※2 のれんの償却等を含む ※3 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）

決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン）

- 国内自然災害影響や新型コロナによる自動車保険損害率低下効果の一部剥落などにより、保険引受利益は8億円

保険引受利益（損保ジャパン）の増減要因



	①コア保険引受利益			②異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2021年度第1四半期	523億円	524億円	△0億円	△177億円	346億円
2022年度第1四半期	133億円	332億円	△199億円	△124億円	8億円

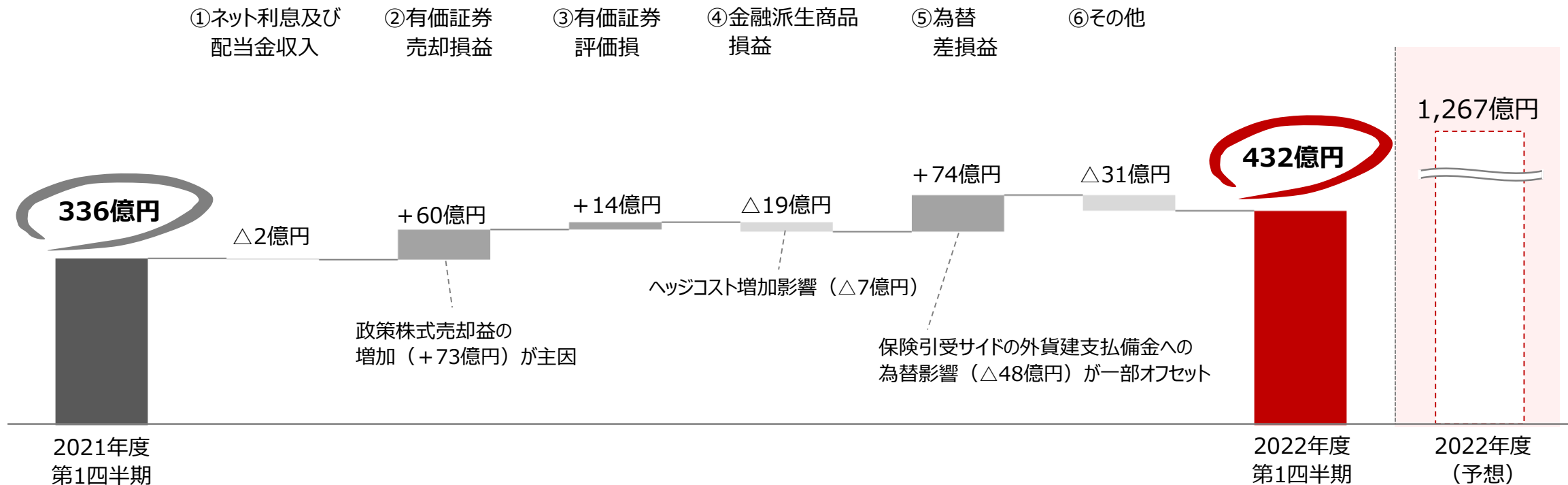
※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 国内自然災害は、当年度発生 の 正味支払保険金を集計。2022年度第1四半期は雹災（2022年6月発生）の正味発生保険金（196億円）を加算

決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン）

- 政策株式削減が順調に進捗したことに伴う有価証券売却益の増加により、資産運用粗利益は+95億円増益の432億円

資産運用粗利益（損保ジャパン）の増減要因

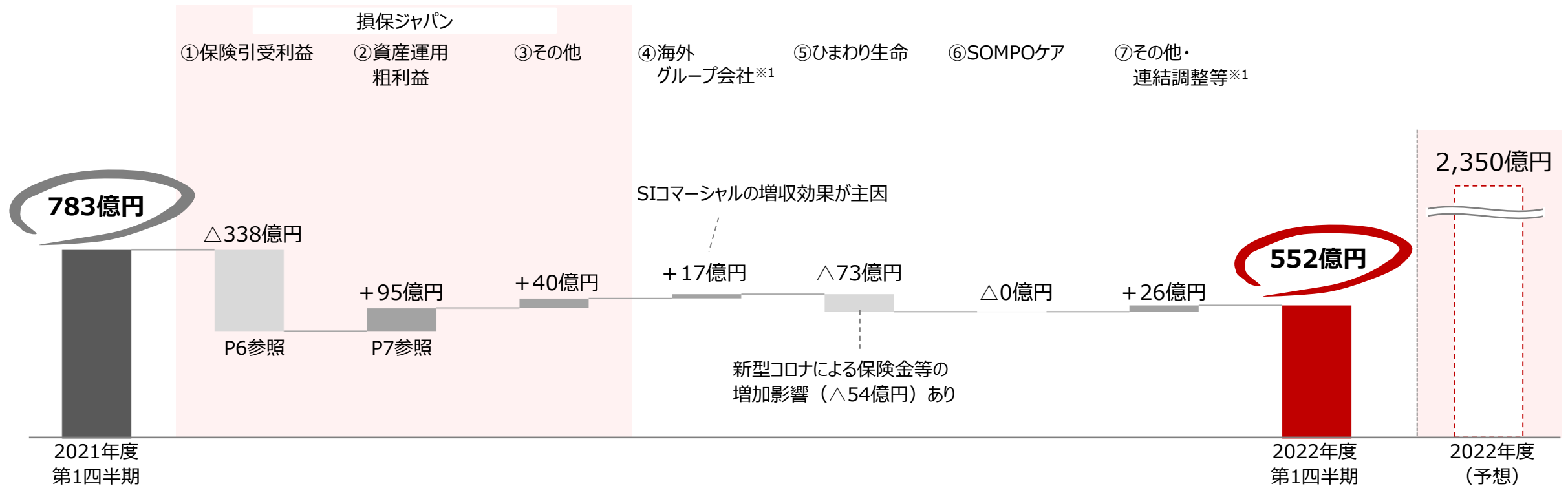


	①ネット利息及び配当金収入	②有価証券売却損益	③有価証券評価損	④金融派生商品損益	⑤為替差損益	⑥その他	資産運用粗利益
2021年度第1四半期	313億円	15億円	△20億円	9億円	13億円	5億円	336億円
2022年度第1四半期	310億円	75億円	△5億円	△9億円	87億円	△25億円	432億円

決算のポイント③ 連結経常利益

- 連結経常利益は552億円と、業績予想（2,350億円）に対する進捗率は24%

連結経常利益の増減要因



	①保険引受利益	②資産運用粗利益	③その他	④海外グループ会社	⑤ひまわり生命	⑥SOMPOケア	⑦その他・連結調整等	連結経常利益
2021年度第1四半期	346億円	336億円	△68億円	198億円	73億円	16億円	△120億円	783億円
2022年度第1四半期	8億円	432億円	△28億円	216億円	0億円	16億円	△93億円※2	552億円

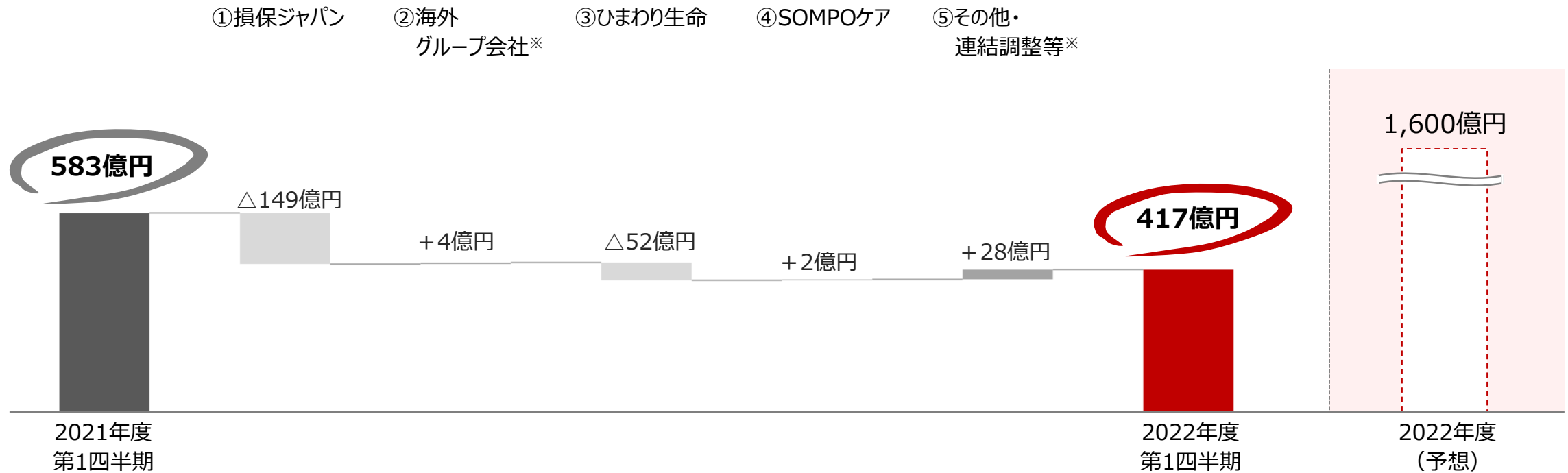
※1 SIにかかる会計基準差異の修正影響（584億円、対前年+424億円）を調整

※2 2022年度第1四半期のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額（税前）は49億円

決算のポイント④ 連結純利益

- 連結純利益は417億円（業績予想に対する進捗率：26%）

連結純利益の増減要因



	①損保ジャパン	②海外グループ会社	③ひまわり生命	④SOMPOケア	⑤その他・連結調整等	連結純利益
2021年度第1四半期	467億円	167億円	50億円	10億円	△112億円	583億円
2022年度第1四半期	318億円	172億円	△1億円	13億円	△84億円	417億円

※ SIIにかかる会計基準差異の修正影響（488億円、対前年+354億円）を調整

(参考) 2022年度通期業績予想 (連結)

2022年5月20日
公表数値から修正なし

(単位：億円)	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	対前年増減
正味収入保険料	32,157	34,410	+2,252
生命保険料	3,251	3,270	+18
連結経常利益	3,155	2,350	△805
損保ジャパン	2,108	1,875	△233
海外グループ会社※	861	1,245	+383
ひまわり生命	232	158	△74
SOMPOケア	93	89	△4
その他・連結調整等※	△140	△1,018	△877
連結純利益	2,248	1,600	△648
損保ジャパン	1,662	1,450	△212
海外グループ会社※	643	952	+309
ひまわり生命	159	105	△54
SOMPOケア	59	55	△3
その他・連結調整等※	△275	△963	△687
(参考) 修正連結利益	2,613	2,600	△13
国内損保事業	1,574	1,200	△373
海外保険事業	618	1,000	+381
国内生保事業	336	350	+13
介護・シニア事業	59	60	+0
デジタル事業等	24	10	△14

※ SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整

(参考) 2022年度通期業績予想のポイント2022年5月20日
公表数値から修正なし

- 正味収入保険料は、SIコマースでのトップライン増収効果を主因に、対前年 + 2,252億円の3兆4,410億円と予想
- HDが保有する有価証券の売却益や新型コロナ影響の剥落を主因に、連結経常利益は2,350億円、連結純利益は1,600億円を見込む
- 修正連結利益は、一過性要因の剥落影響を、国内外の保険引受利益の増益でカバーし、前年同水準の2,600億円となる見込み

損保ジャパン

- 新型コロナ影響による損害率低下が一定剥落するものの、火災保険の収益改善を主因に、保険引受利益は + 159億円増益
- 資産運用粗利益は、ヘッジコスト増加（110億円程度）などを織り込み、1,267億円（△365億円減益）
- 計画どおり、政策株式を500億円削減

海外保険事業

- SIコマースでは、これまでの大幅レートアップなどもあり、既経過保険料は + 2,036億円（対前年 + 26%）増収
- 増収効果に加え、事業費等の改善もあり、SIコマースのコンバインド・レシオは△3.2ptの改善（保険引受利益 + 439億円）
- 前年度のSompoセグロスでの一過性要因が剥落することもあり、海外保険事業の修正利益は + 381億円の増益

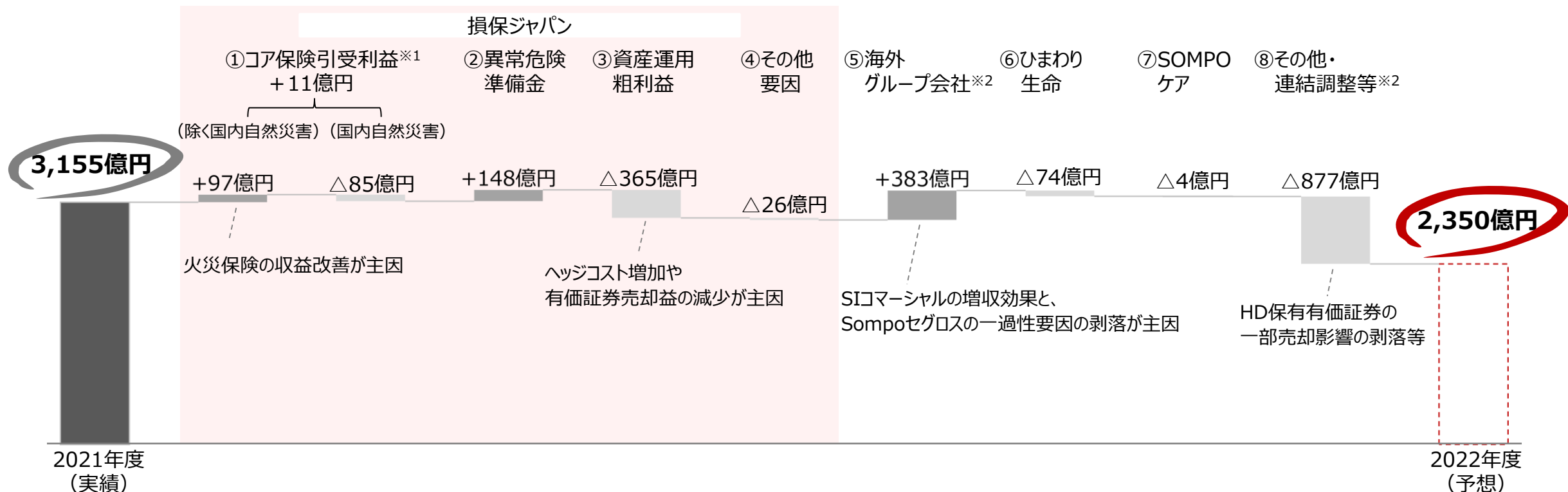
ひまわり生命

- 成長投資に伴い事業費が増加する一方、Insurhealth®商品を中心に収益性の高い保障性の新契約年換算保険料は拡大

SOMPOケア

- 入居率改善（+ 1.8pt）に加えて、ネクサスケア社統合もあり、売上高は1,511億円（対前年 + 149億円）

連結経常利益の主要構成要素



	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	③資産運用粗利益	④その他要因	⑤海外グループ会社	⑥ひまわり生命	⑦SOMPOケア	⑧その他・連結調整等	連結経常利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)								
2021年度実績	1,946億円	△744億円	△571億円	1,633億円	△155億円	861億円	232億円	93億円	△140億円	3,155億円
2022年度予想	2,043億円	△830億円	△423億円	1,267億円	△182億円	1,245億円	158億円	89億円	△1,018億円※3	2,350億円

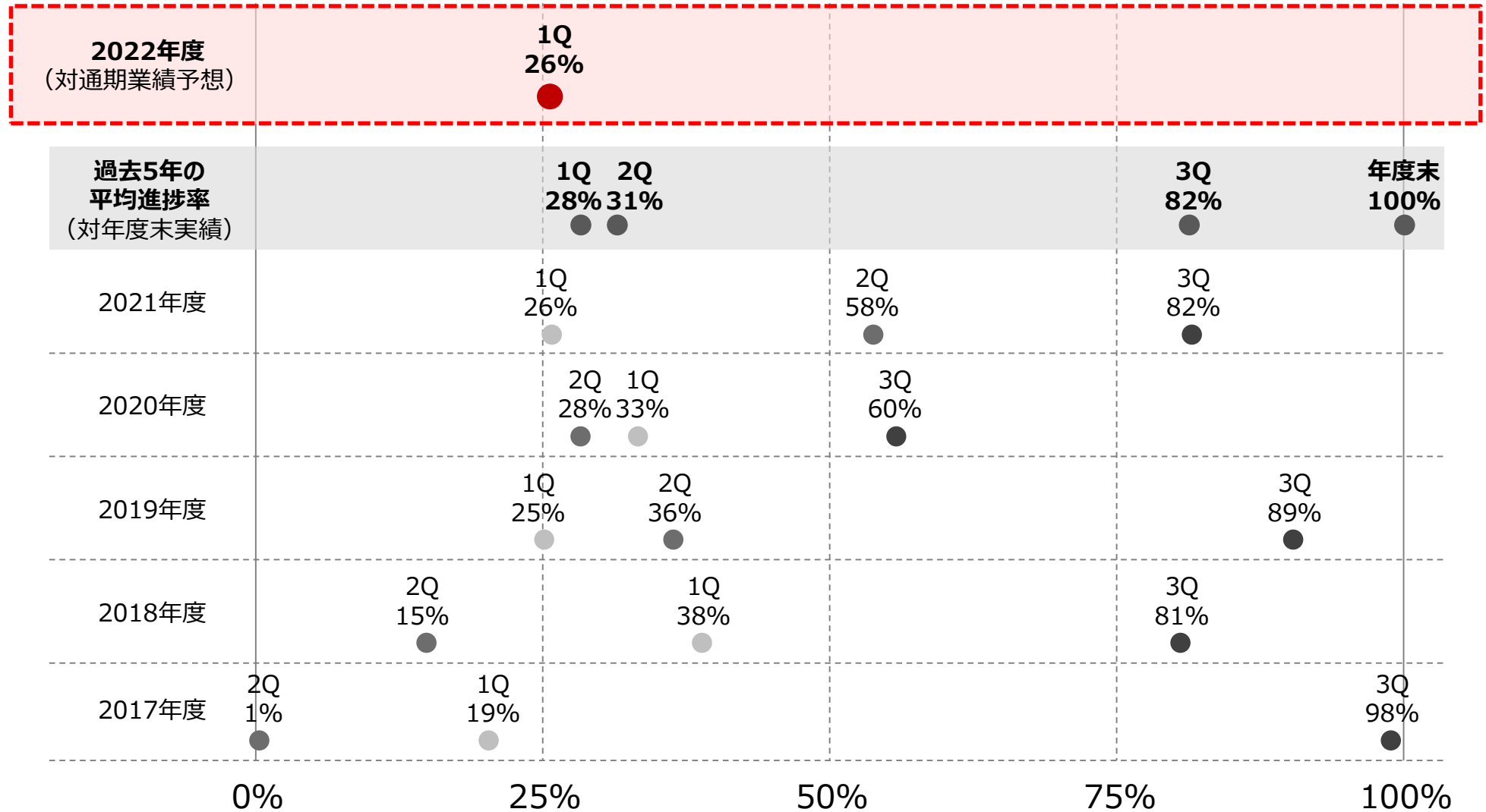
※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 SIにかかる会計基準差異の修正影響（301億円）を調整

※3 SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度（買収時点）、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2022年度予想における正味償却対象額は199億円の見込み

(参考) 過去の業績進捗状況

四半期の進捗率 (連結純利益)



(参考) 経営数値目標等

計画数値

(単位：億円)	2022年度第1四半期		2022年度		2023年度	
	(実績)	(対前年増減)	(予想)	(事業別ROE) ※4	(計画)	(事業別ROE)
国内損保事業	364	△244	1,200	8.7%	1,500以上	11.4%
海外保険事業	200	+29	1,000	10.3%	1,000以上	11.6%
国内生保事業	57	△37	350	4.8%	400以上	5.7%
介護・シニア事業	14	+3	60	10.3%	80以上	14.3%
デジタル事業等	3	+1	10	-	20以上	-
合計(修正連結利益)	639	△247	2,600	-	3,000以上	-
修正連結ROE※3	-	-	9.2%	-	10%以上	-
ROE (J-GAAPベース)	-	-	7.9%	-	-	-

修正連結利益※1の定義

国内損保事業

当期純利益
 + 異常危険準備金繰入額等 (税引後)
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

海外保険事業

Operating Income※2
 なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益

国内生保事業

当期純利益
 + 危険準備金繰入額 (税引後)
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
 + 責任準備金補正 (税引後)
 + 新契約費繰延 (税引後)
 - 新契約費償却 (税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

介護・シニア事業

その他事業

当期純利益

デジタル事業

当期純利益
 - 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失など)

※3 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※4 事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本 (事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均)

事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

2022年度第1四半期決算概況（損保ジャパン）

- 保険引受利益の減益を、資産運用粗利益の増益で一部オフセット、当期純利益は318億円と概ね計画どおり

(単位：億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減	2022年度 (予想)
正味収入保険料	5,605	5,682	+77 (+1.4%)	22,040
（除く自賠責・家計地震）	5,058	5,198	+139 (+2.8%)	19,876
既経過保険料（除く自賠責・家計地震）	4,724	4,810	+85 (+1.8%)	19,808
E/I損害率（除く自賠責・家計地震）	54.2%	61.4%	+7.2pt	59.3%
正味損害率	56.5%	57.0%	+0.6pt	61.3%
（除く自賠責・家計地震）	53.7%	54.7%	+0.9pt	59.1%
正味事業費率	33.6%	33.8%	+0.3pt	33.8%
（除く自賠責・家計地震）	33.9%	34.0%	+0.2pt	34.4%
コンバインド・レシオ（E/I）※1（除く自賠責・家計地震）	88.1%	95.5%	+7.4pt	93.7%
（参考）コンバインド・レシオ（W/P）（除く自賠責・家計地震）	87.6%	88.7%	+1.1pt	93.5%
保険引受利益	346	8	△338	790
資産運用粗利益	336	432	+95	1,267
経常利益	614	412	△202	1,875
当期純利益	467	318	△149	1,450
(参考)				
異常危険準備金繰入額等（税引後）	+128	+91	△37	+310
価格変動準備金繰入額（税引後）	+7	+7	+0	+29
有価証券売却損益・評価損（税引後）	+7	△48	△56	△101
特殊要因（税引後）※2	△1	△1	△0	△478
修正利益	609	366	△242	1,210

※1 E/I損害率 + 正味事業費率（以下同様）

※2 グループ会社配当、株式先物関連損益等

正味収入保険料

- 火災保険、新種保険が好調

正味収入保険料

(単位：億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減		2022年度 (予想)
火災	686	791	+104	(+15.2%)	3,521
海上	115	142	+26	(+22.9%)	480
傷害	472	477	+5	(+1.1%)	1,571
自動車	2,775	2,749	△25	(△0.9%)	10,900
自賠償	545	483	△61	(△11.3%)	2,160
その他	1,008	1,037	+29	(+2.9%)	3,404
うち賠償責任	564	569	+5	(+0.9%)	1,612
合計	5,605	5,682	+77	(+1.4%)	22,040
合計 (除く自賠償・家計地震)	5,058	5,198	+139	(+2.8%)	19,876

(主な増減要因)

火災：商品改定による料率適正化、企業分野の増収などにより堅調

自動車：新車販売台数の減少や商品改定による料率引き下げなどにより減収

その他：主力商品の「ビジネスマスター・プラス」が引き続き好調

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
前年同期比 (2022年4月～2022年6月)

(営業成績保険料ベース)

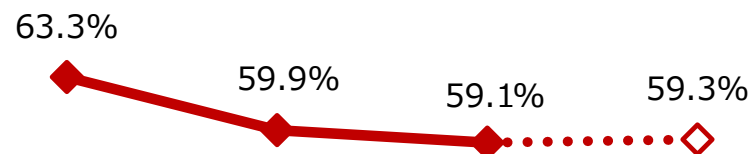
	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△0.6%	+0.1%	△0.5%
フリート	△0.6%	△2.9%	△3.5%
合計	△0.6%	△0.4%	△1.0%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ! を除く

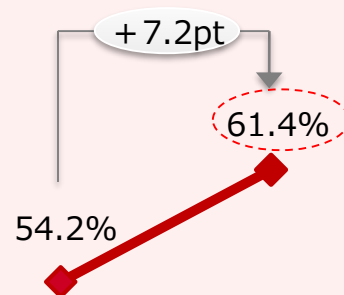
正味損害率（アード・インカード）

- 雹災影響もあり、E/I損害率は61.4%（対前年+7.2pt）

E/I損害率（除く自賠償・家計地震）の推移



第1四半期の推移



(参考) 種目別E/I損害率	2022年度 第1四半期		2022年度 (予想)
	損害率	増減	損害率
火災（除く家計地震）	62.5%	+12.3pt	68.2%
海上	60.9%	△7.3pt	61.4%
傷害	50.4%	△1.4pt	50.8%
自動車	62.6%	+8.8pt	57.4%
その他	61.3%	+3.0pt	59.7%
合計 (除く自賠償・家計地震)	61.4%	+7.2pt	59.3%

(主な増減要因)

火災：雹災影響（+9.9pt）

自動車：新型コロナ影響の一部剥落（交通量増加）、および雹災影響（+4.3pt）

2019年度

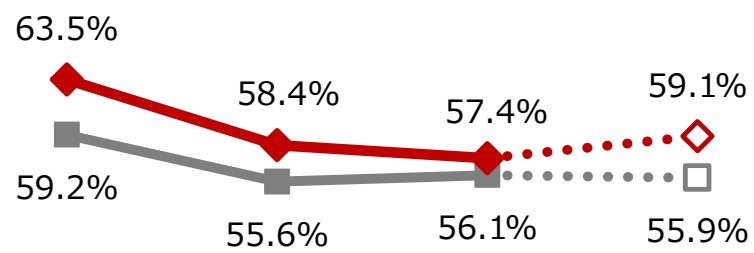
2020年度

2021年度

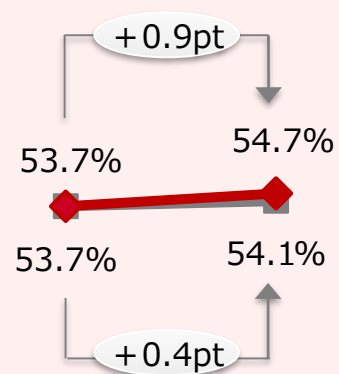
2022年度
(予想)2021年度
第1四半期2022年度
第1四半期

(参考) 正味損害率 (リトン・ペイド)

正味損害率の推移



第1四半期の推移




(参考) 種目別W/P損害率	2022年度 第1四半期		2022年度 (予想)
	損害率	増減	損害率
火災 (除く家計地震)	75.2%	△9.4pt	71.1%
海上	34.6%	△9.4pt	60.1%
傷害	44.7%	+4.8pt	49.4%
自動車	55.1%	+2.0pt	56.5%
その他	45.3%	+3.3pt	59.1%
合計 (除く自賠償・家計地震)	54.7%	+0.9pt	59.1%

2019年度

2020年度

2021年度

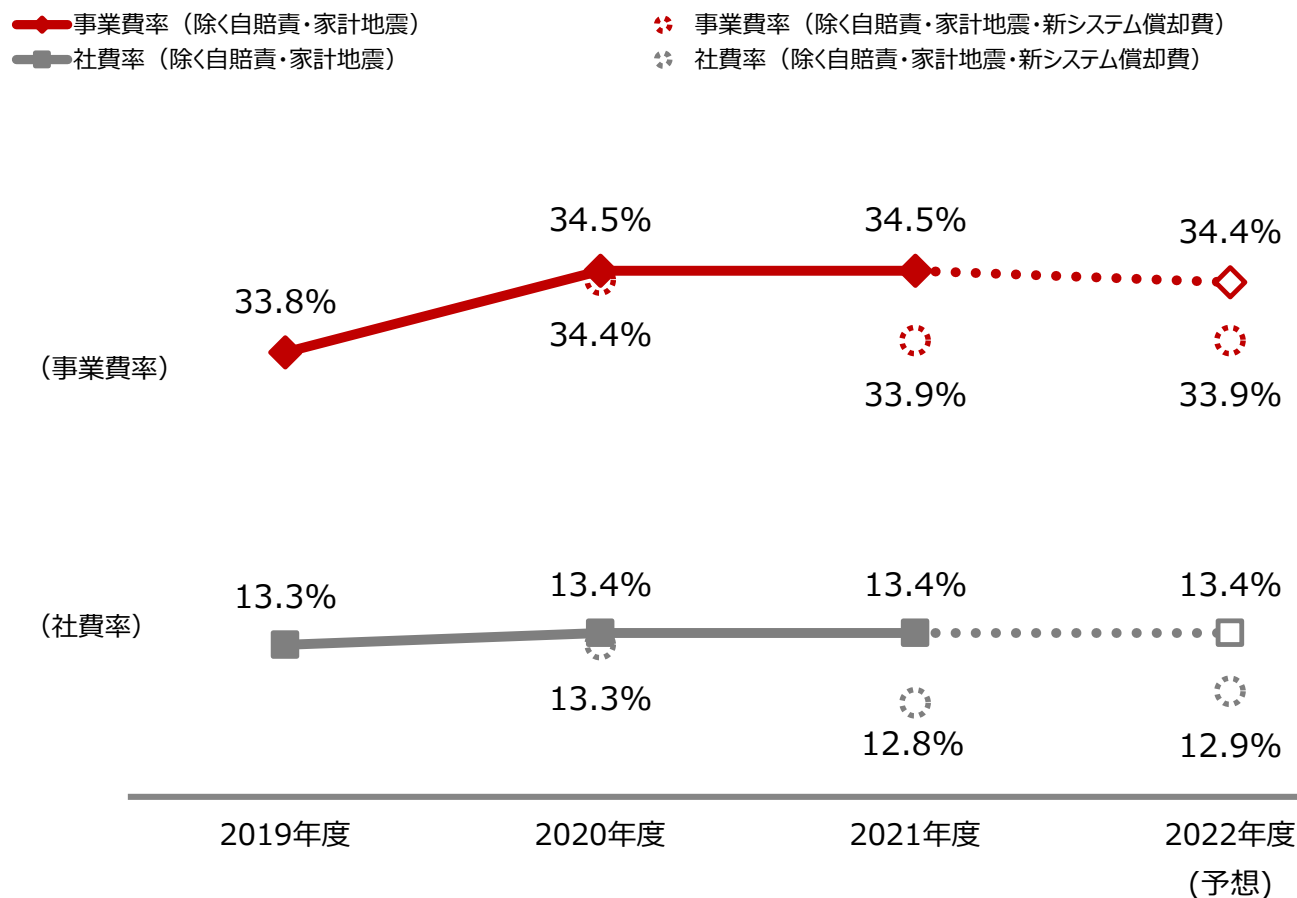
2022年度
(予想)2021年度
第1四半期2022年度
第1四半期
 損害率 (除く自賠償・家計地震)

 (参考) 損害率 (除く自賠償・家計地震・国内自然災害)

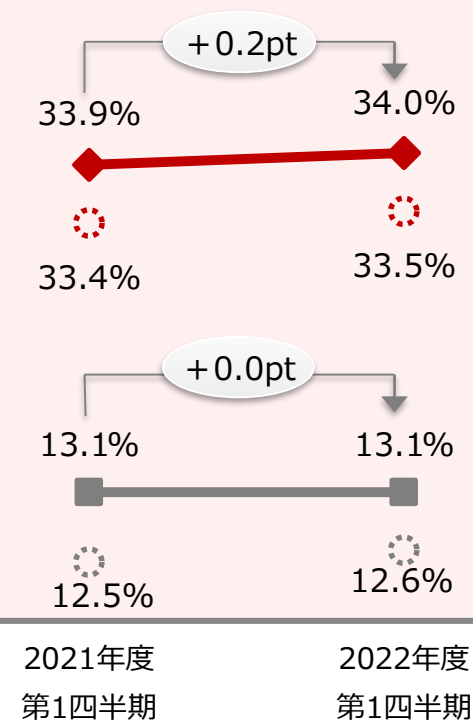
正味事業費率

- 事業費率・社費率ともに計画対比で良好な水準

事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移



第1四半期の推移

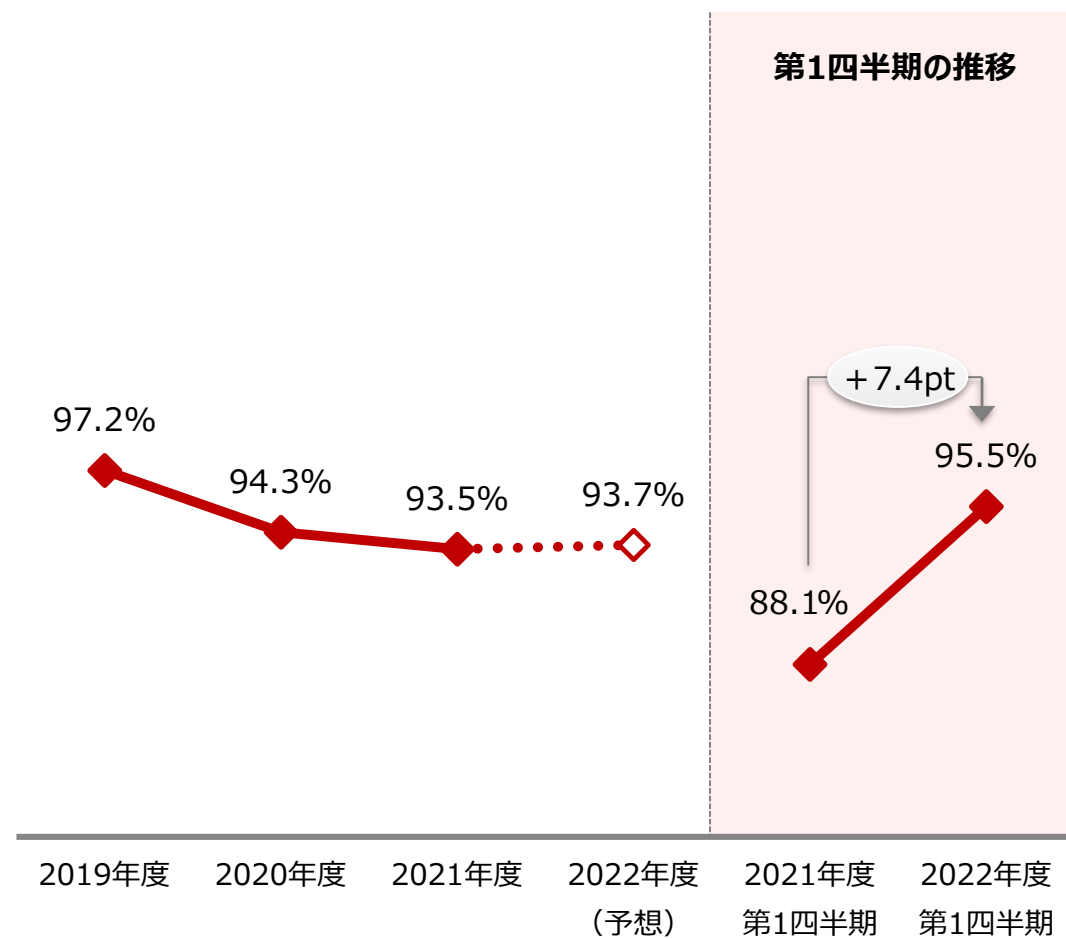


※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

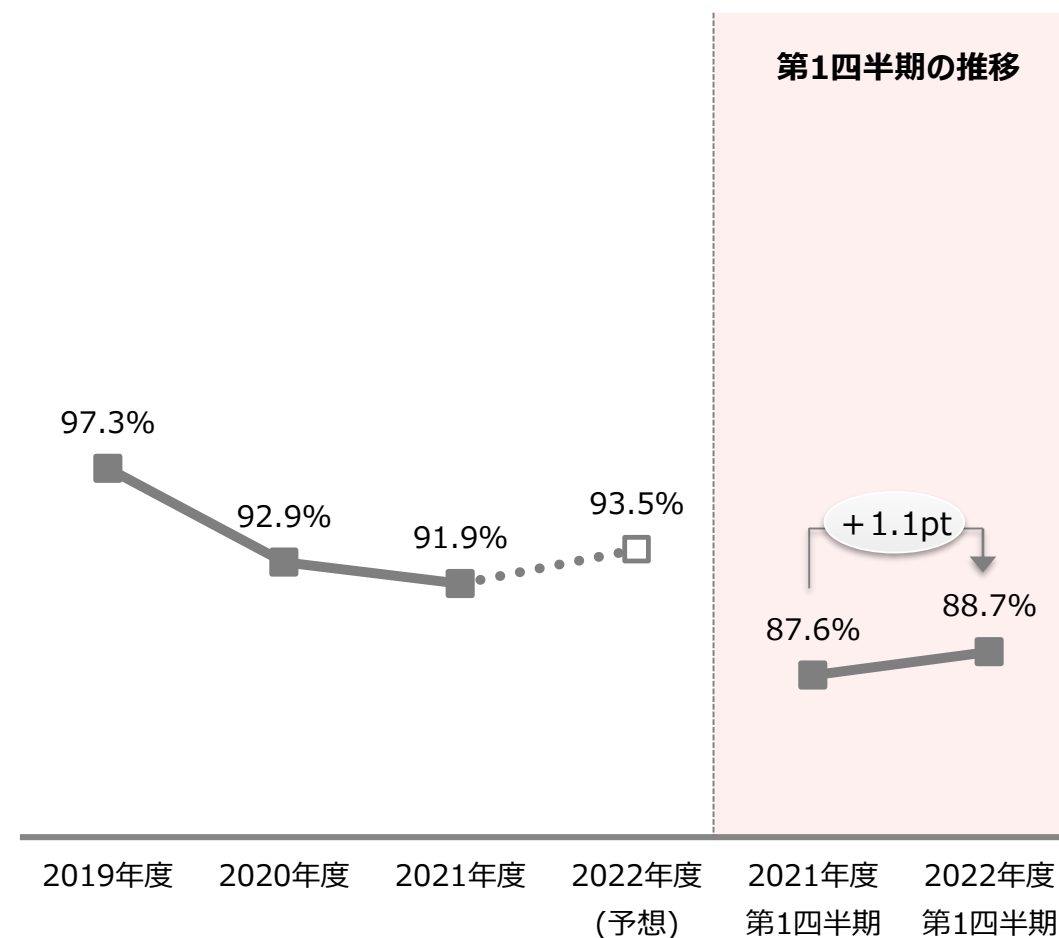
コンバインド・レシオ

- E/Iコンバインド・レシオは95.5%

コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)



(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)



資産運用損益

- ネット利配は前年と概ね同水準
- 政策株式は126億円削減、年度削減目標額（500億円）に対して順調な進捗

資産運用粗利益（損保ジャパン）

(単位：億円)		2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減	2022年度 (予想)
ネット利息及び配当金収入	①	313	310	△2	1,182
利息及び配当金収入※1		390	384	△5	1,470
(うち海外子会社配当金)		0	1	+1	491
有価証券売却損益※1	②	15	75	+60	266
(うち国内株式)		12	86	+73	300
有価証券評価損	③	△20	△5	+14	△90
(うち国内株式)		△20	△5	+14	△50
金融派生商品損益	④	9	△9	△19	△112
為替差損益	⑤	13	87	+74	△3
その他損益	⑥	5	△25	△31	23
資産運用粗利益 (①～⑥計)		336	432	+95	1,267

(参考) 政策株式削減額

現物※2 126億円

先物※3 -

合計 126億円

※2 時価ベースのネット削減額
(売却時価－購入時価)

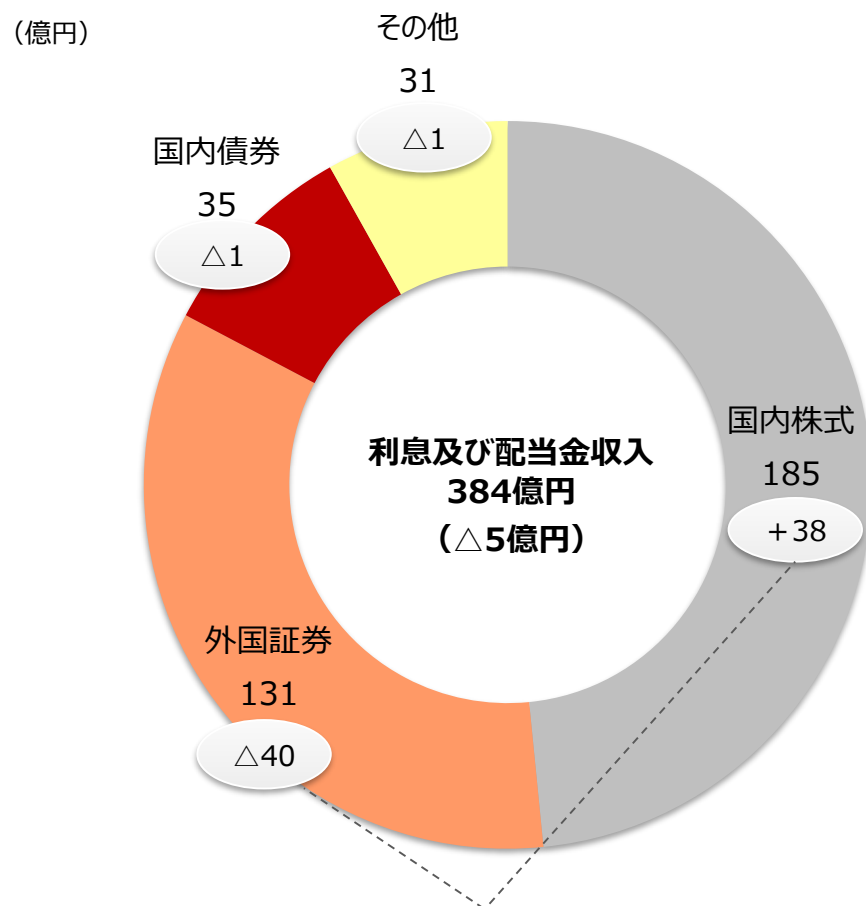
2022年度削減目標額は500億円

※3 日経平均先物の売建て

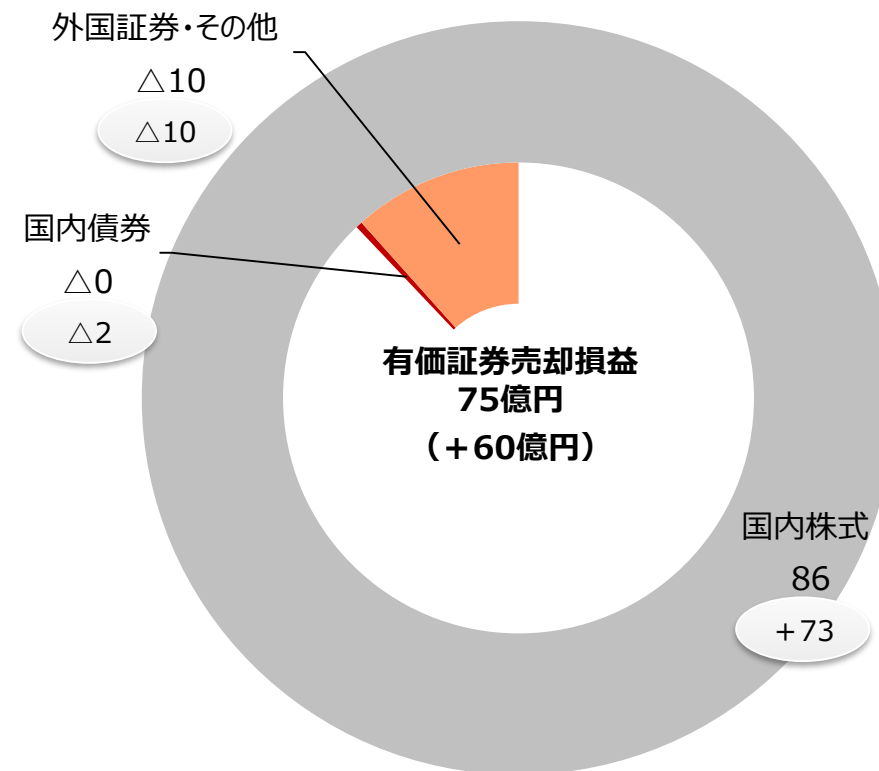
※1 内訳は次ページ参照

(参考) 資産運用粗利益の内訳

利息及び配当金収入・有価証券売却損益の内訳 (2022年度第1四半期)



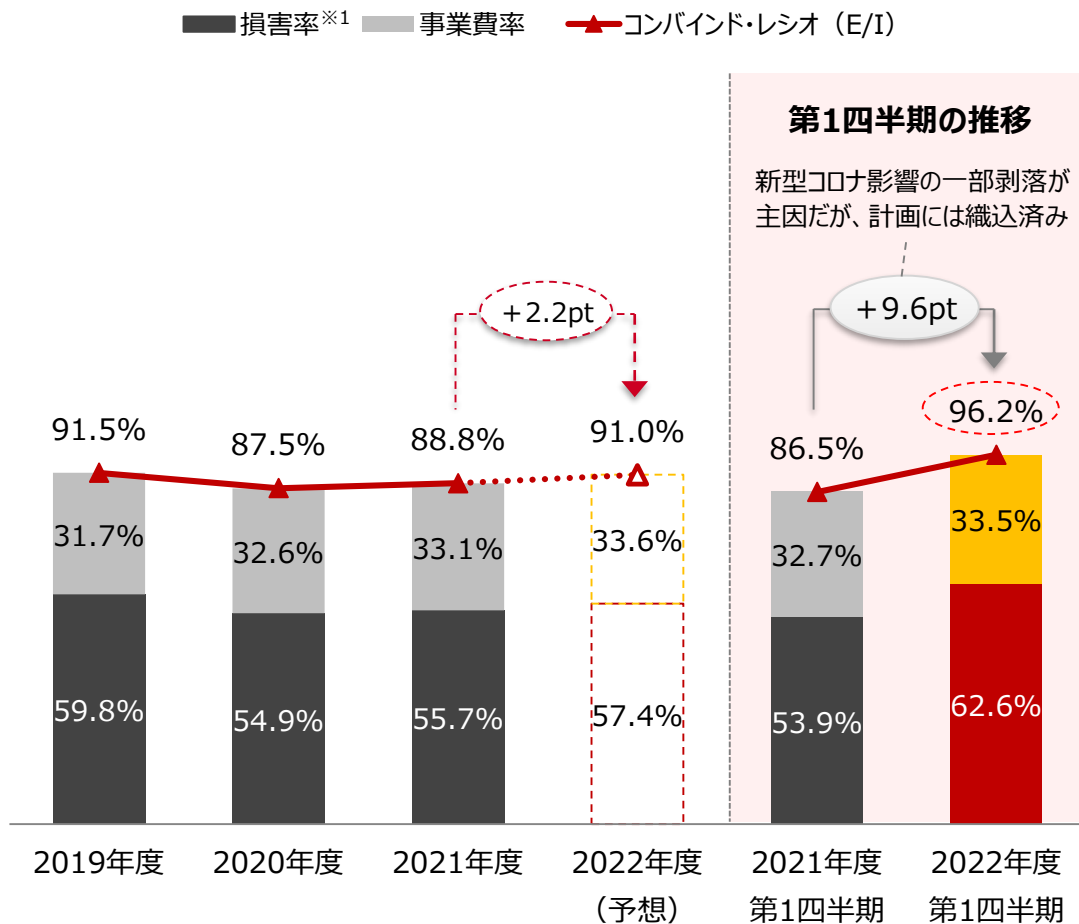
前年度のファンド解約などに伴う利配の剥落影響を国内株式からの配当金収入でオフセット



○ : 2021年度第1四半期対比の増減額

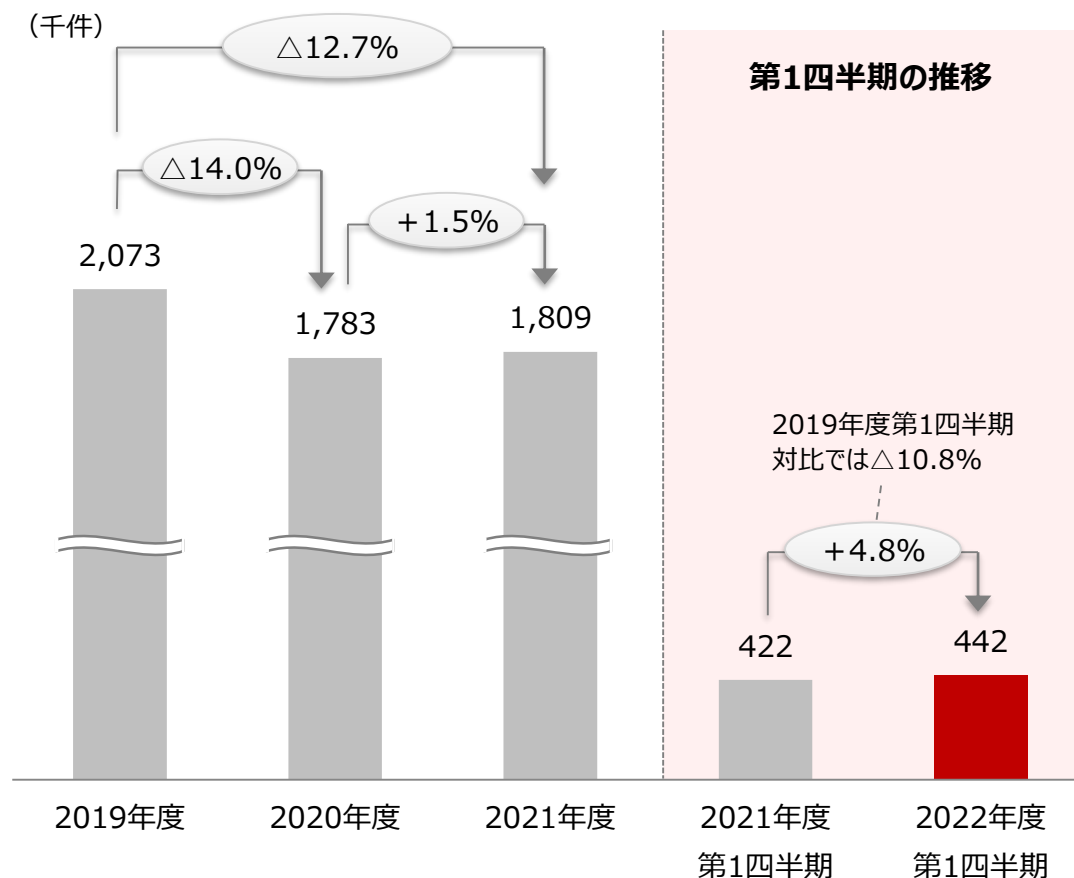
(参考) 自動車保険関連の指標

コンバインド・レシオ (E/I) の推移



※1 損害率はE/Iベース (含む損調費)

事故受付件数※2の推移

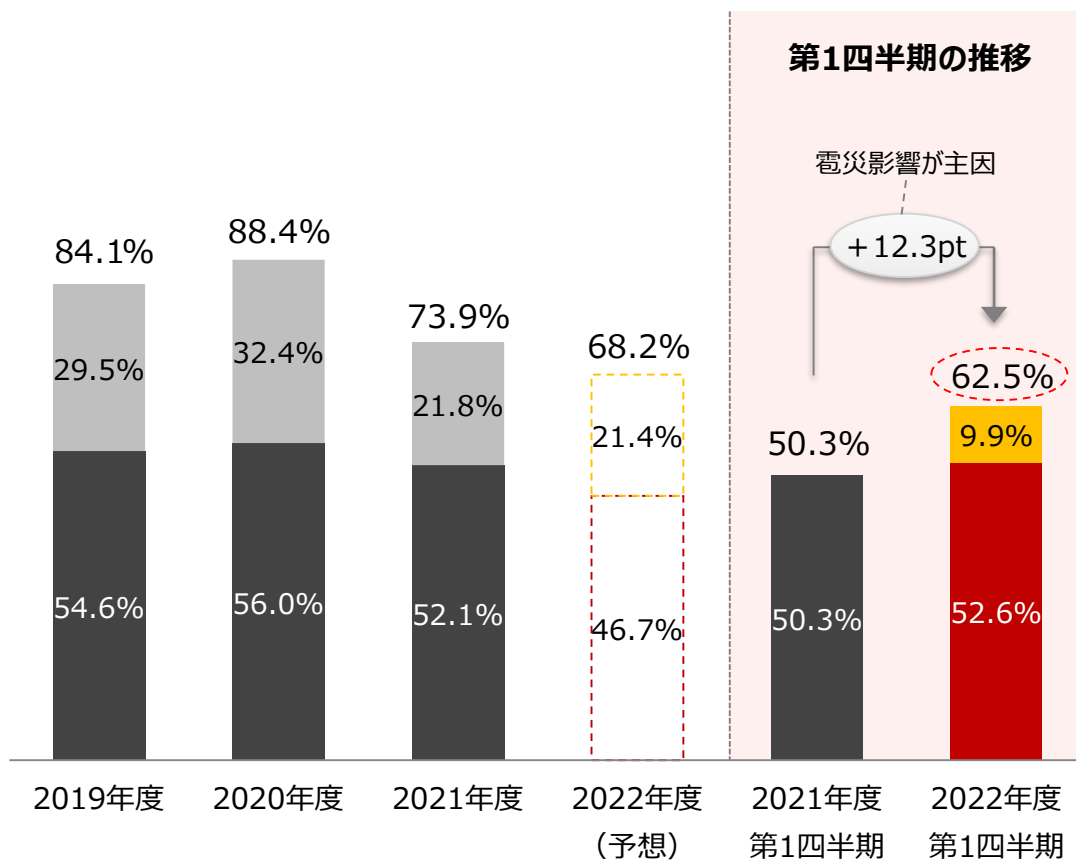


※2 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

(参考) 火災保険、新種保険関連の指標

火災保険※のE/I損害率の推移

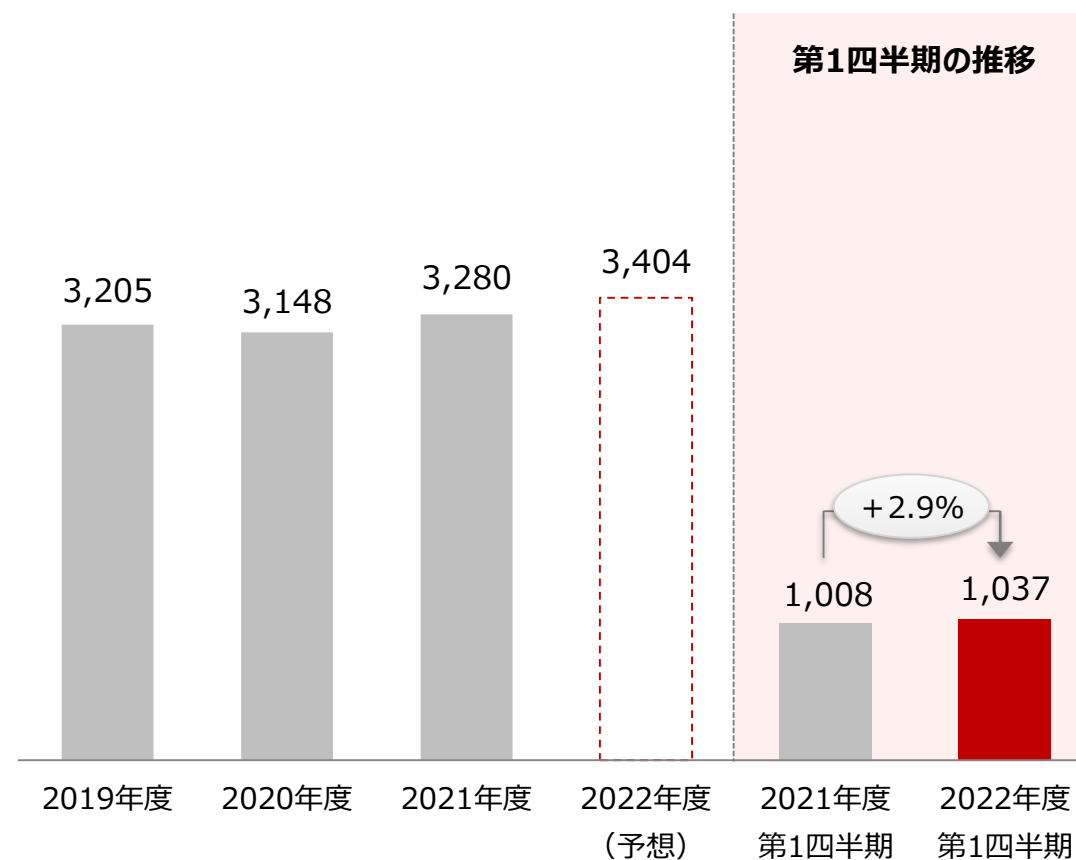
■ 火災保険損害率（除く国内自然災害） ■ 火災保険損害率（国内自然災害）



※ 除く家計地震

新種保険正味収入保険料の推移

（億円）



(参考) 国内自然災害**国内自然災害影響（除く自賠責・家計地震）※**

(単位：億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減
火災	0	81	+81
海上	-	-	-
傷害	0	0	△0
自動車	-	116	+116
その他	0	0	+0
合計	0	199	+198

※ 国内自然災害（当年度発生）に係る正味支払保険金を集計。
これに、2022年度第1四半期は雹災（2022年6月発生）の正味発生保険金（196億円）を加算

※ 第1四半期決算では支払備金を簡便法で算出しているため、上記雹災以外の国内自然災害に係る発生保険金を集計していない。
なお、通期業績予想における国内自然災害正味発生保険金（見込）は830億円

(参考) 責任準備金・支払備金

責任準備金・支払備金（2022年度第1四半期）

(単位：億円)

	普通責任準備金 ^{※1}		異常危険準備金		支払備金	
	残高	積増額	残高	積増額	残高	積増額
火災 ^{※2}	7,811	△28	1,122	△24	1,472	△76
海上	234	+11	463	+8	244	+13
傷害	1,390	+109	827	+15	442	△27
自動車	3,222	+49	1,152	+88	3,870	+177
自賠責 ^{※2}	4,517	△77	-	-	622	-
その他	3,644	+198	2,070	+36	2,476	+41
合計	20,821	+261	5,636	+124	9,129	+127
合計（除く自賠責・家計地震）	16,284	+353	5,636	+124	8,491	+113
	残高	積増額				積増額
長期性資産 ^{※3}	10,347	△128			外貨建支払備金の為替影響	+48

※1 積立保険以外に係る払戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠責保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 払戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

(参考) 2022年度通期業績予想 (損保ジャパン)2022年5月20日
公表数値から修正なし

(単位：億円)	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	増減
正味収入保険料	21,587	22,040	+452 (+2.1%)
(除く自賠責・家計地震)	19,417	19,876	+459 (+2.4%)
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	19,377	19,808	+431 (+2.2%)
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	59.1%	59.3%	+0.2pt
正味損害率	59.8%	61.3%	+1.5pt
(除く自賠責・家計地震)	57.4%	59.1%	+1.7pt
正味事業費率	33.7%	33.8%	+0.0pt
(除く自賠責・家計地震)	34.5%	34.4%	△0.0pt
コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)	93.5%	93.7%	+0.2pt
(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	91.9%	93.5%	+1.6pt
保険引受利益	630	790	+159 (+25.3%)
資産運用粗利益	1,633	1,267	△365 (△22.4%)
経常利益	2,108	1,875	△233 (△11.1%)
当期純利益	1,662	1,450	△212 (△12.8%)
(参考) 修正利益			
異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+418	+310	△107
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+30	+29	△0
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△258	△101	+156
特殊要因 (税引後) ※	△289	△478	△188
修正利益	1,562	1,210	△352

※ グループ会社配当など

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

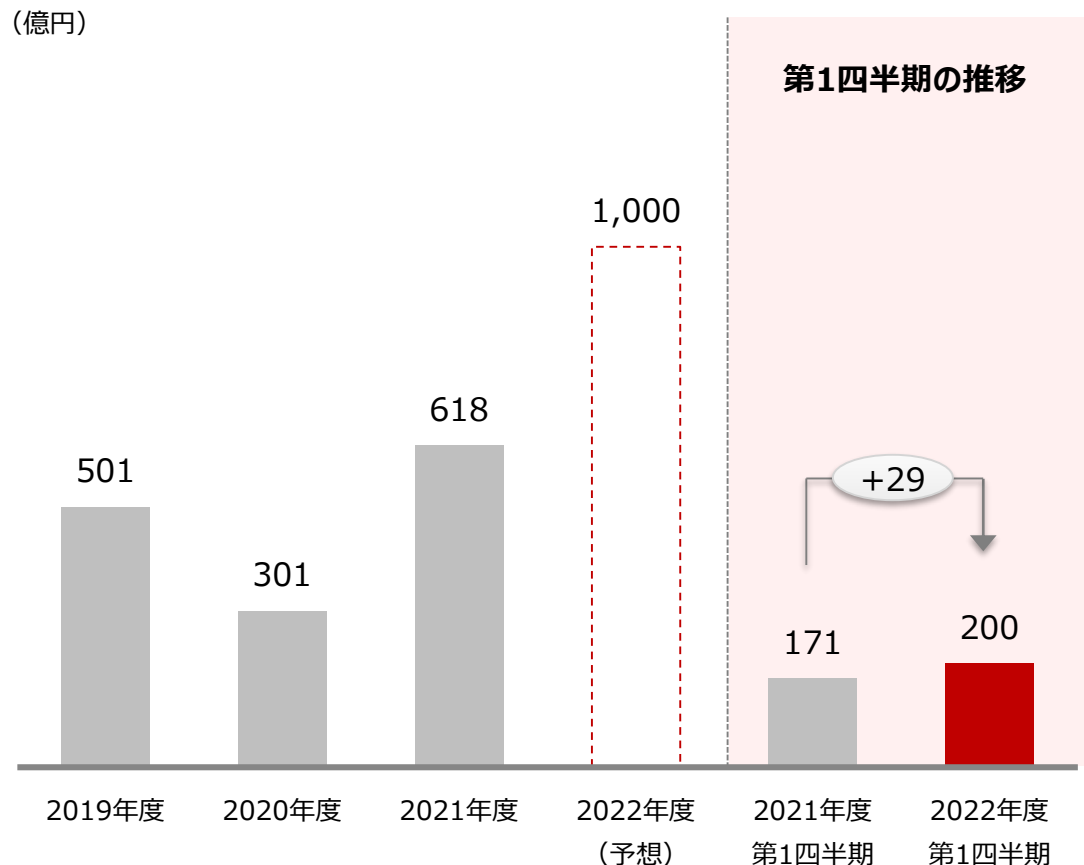
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

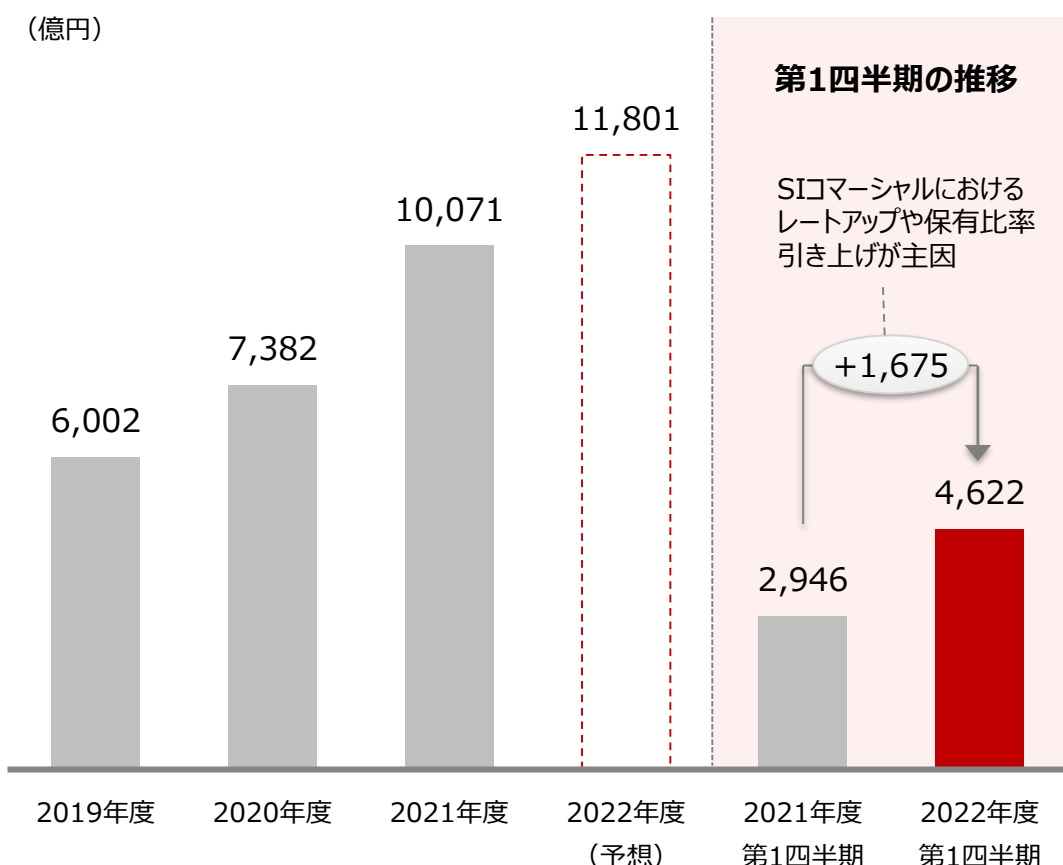
業績概況（海外保険事業）

- 収入保険料が、SIコマーシャルのレートアップや保有比率引き上げを主因に+1,675億円の大幅増収（計画超過）を実現したこともあり、海外保険事業の修正利益は+29億円増益の200億円と順調に推移

修正利益※



(参考) 収入保険料※

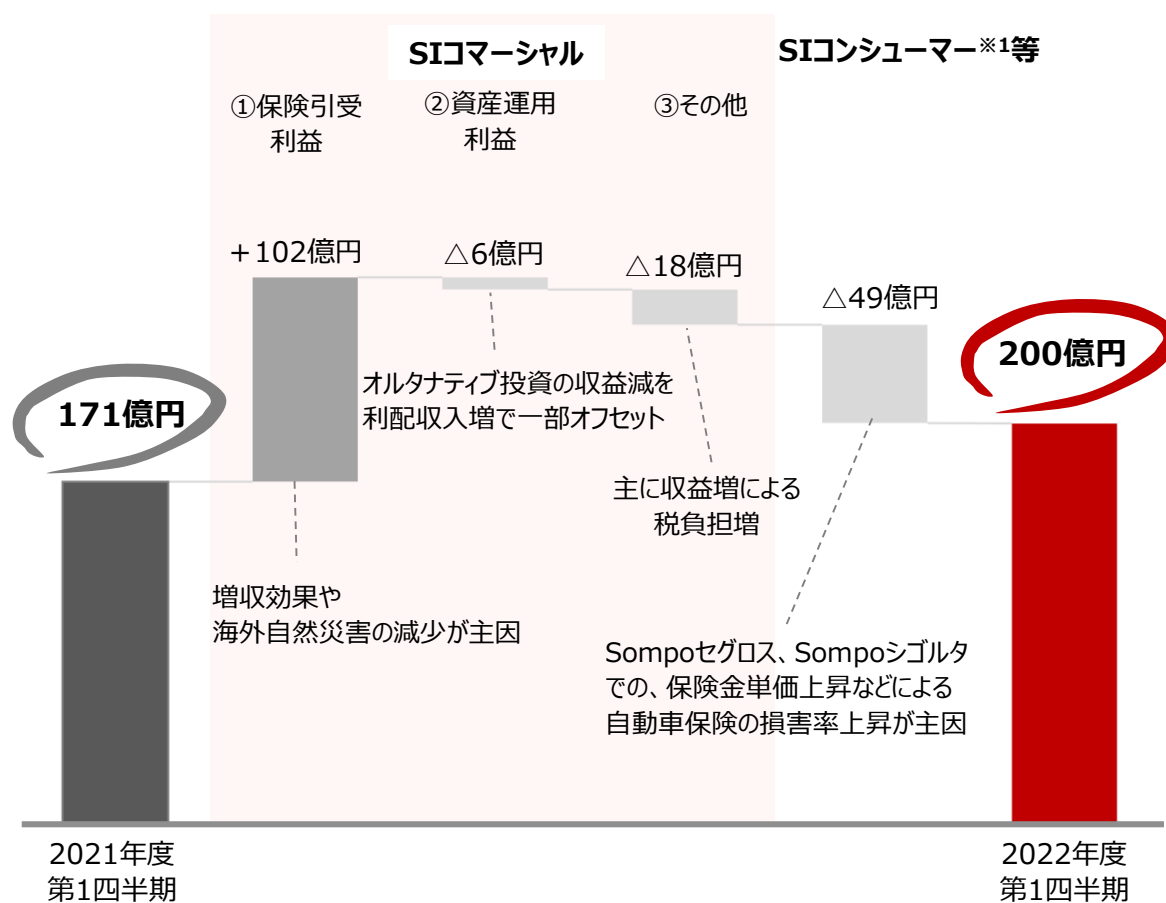


※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

業績詳細

- 増収効果や海外自然災害の減少などによる保険引受利益の増益を主因に、SIコマーシャルの修正利益は+78億円増益
- SIコンシューマーは、Sompoセグロス（ブラジル）およびSompoシゴルタ（トルコ）における、自動車保険の損害率上昇影響あり

修正利益の増減要因*



※1 SIコンシューマーは、Sompoインターナショナルのコンシューマー部門を指す

(参考) 地域別業績

(億円)	収入保険料			修正利益		
	2022年度第1四半期実績	2022年度第1四半期増減	2022年度通期予想	2022年度第1四半期実績	2022年度第1四半期増減	2022年度通期予想
SIコマーシャル (欧米)	4,196	+1,512	10,383	219	+78	935
Sompoシゴルタ (中東・トルコ)	65	+10	245	△2	△17	37
SIコンシューマー (南米・ブラジル)	209	+119	559	△30	△22	△10
アジア各社合計	150	+35	613	21	△0	63
その他※2	-	-	-	△7	△8	△24
合計	4,622	+1,675	11,801	200	+29	1,000

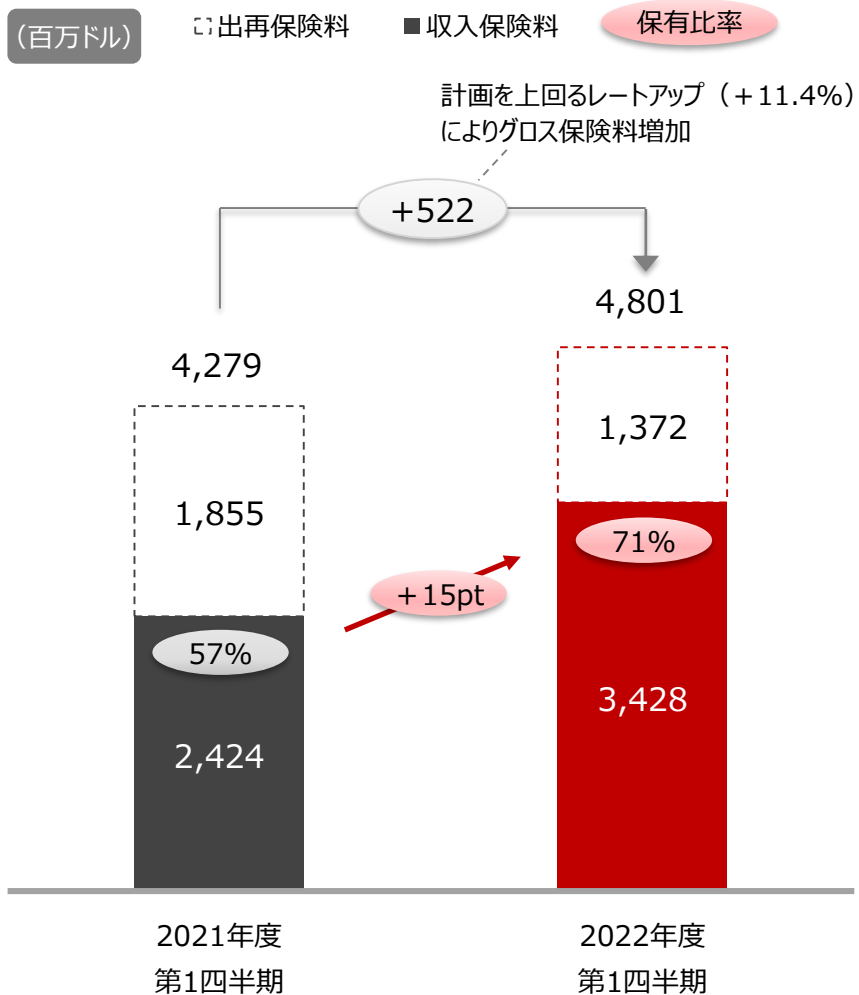
(参考) 為替レート※3

	2022年3月	対前年為替影響
円/米ドル	122.39	+10.6%
円/トルコリラ	8.36	△37.0%
円/ブラジルリアル	25.65	+33.8%

※2 コーポレートコストなど
 ※3 通期業績予想における前提為替レートは2022年3月末を使用

(参考) SICマーシャルの業績概況 (トップライン)

グロス保険料



(参考) セグメント別トップライン (単位: 百万ドル)

	2022年度 第1四半期	対前年増減	2022年度 通期予想
グロス保険料	元受保険 (除く農業)	1,296 +118 (+10.0%)	-
	農業保険	1,760 +170 (+10.7%)	-
	再保険	1,744 +233 (+15.4%)	-
	合計	4,801 +522 (+12.2%)	12,861
正味収入保険料	元受保険 (除く農業)	739 +82 (+12.6%)	-
	農業保険	1,089 +566 (+108.5%)	-
	再保険	1,573 +327 (+26.3%)	-
	合計	3,428 +1,004 (+41.4%)	8,483
保有比率	元受保険 (除く農業)	57% +1pt	-
	農業保険	62% +29pt	-
	再保険	90% +8pt	-
	合計	71% +15pt	66%

(主な増減要因)

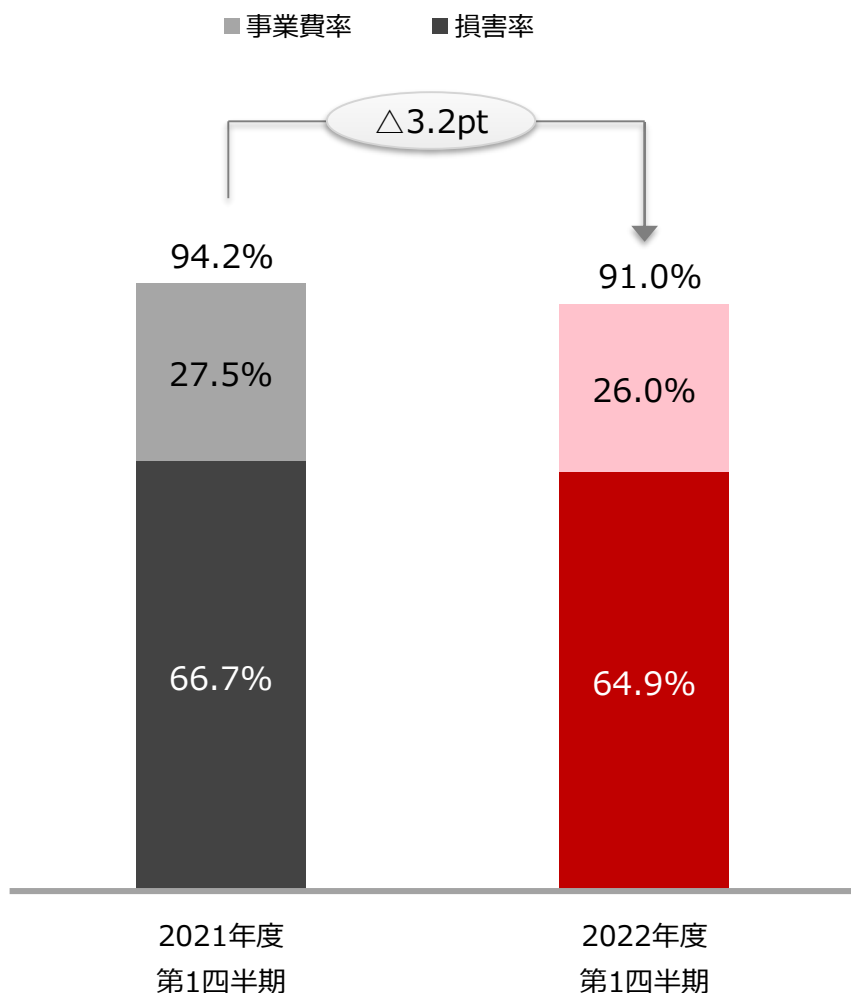
元受保険: プロフェッショナル分野 (専門職業賠償責任保険等) を中心に継続的なレートアップ

農業保険: 作物価格上昇影響およびダイバーシファイド社関連での保有比率引き上げ

再保険: カジュアルティ分野 (企業賠償責任保険等) での新規契約獲得とプライシング見直し効果

(参考) SIコマーシャルの業績概況 (コンバインド・レシオ)

コンバインド・レシオ



(参考) セグメント別コンバインド・レシオ

	2022年度 第1四半期	対前年増減	2022年度 通期予想	
損害率	元受保険 (除く農業)	67.8%	△3.1pt	-
	農業保険	82.4%	△1.7pt	-
	再保険	58.8%	△2.5pt	-
	合計	64.9%	△1.8pt	65.7%
事業費率	元受保険 (除く農業)	21.9%	+0.6pt	-
	農業保険	17.9%	△17.4pt	-
	再保険	31.0%	+0.7pt	-
	合計	26.0%	△1.5pt	24.9%
コンバインド・レシオ	元受保険 (除く農業)	89.6%	△2.5pt	-
	農業保険	100.3%	△19.1pt	-
	再保険	89.0%	△1.8pt	-
	合計	91.0%	△3.2pt	90.7%

(主な増減要因)

元受保険：自然災害減少により損害率改善

農業保険：ダイバーシファイド社統合後の社費削減により事業費率改善

再保険：自然災害減少により損害率改善

※2022年度第1四半期の海外自然災害発生保険金 (豪州洪水)：17百万ドル (約20億円)

※農業保険は、既経過保険料計上の季節性により、第1四半期のコンバインド・レシオは高くなる

(参考) 農業保険既経過保険料の計上タイミング 1Q：10～15% 2Q：25～30% 3Q：30～35% 4Q：25～30%

(参考) SICマーシャルの決算数値

	(百万ドル)		2021年度 通期		2022年度 第1四半期		2022年度 通期		
			(実績)	(実績)	対前年増減		(予想)	対前年増減	
グロス保険料			12,272	4,801	+522	(+12.2%)	12,861	+589	
正味保険料			7,564	3,428	+1,004	(+41.4%)	8,483	+919	
既経過保険料			6,889	1,753	+348	(+24.8%)	8,138	+1,248	
発生保険金			4,697	1,138	+201	(+21.6%)	5,349	+651	→ ロシア・ウクライナ関連影響 11百万ドル(約13億円)を含む
事業費			1,769	456	+70	(+18.1%)	2,028	+259	
損害率※1			68.2%	64.9%	△1.8pt	-	65.7%	△2.5pt	
事業費率※1			25.7%	26.0%	△1.5pt	-	24.9%	△0.8pt	
コンバインド・レシオ※1			93.9%	91.0%	△3.2pt	-	90.7%	△3.2pt	
保険引受利益			426	159	+74	(+88.8%)	759	+333	
資産運用利益			335	76	△13	(△15.0%)	287	△47	
その他損益			△255	△523	△387	-	△97	+157	→ 有価証券未実現損などが主因 (連結消去)
当期純利益			427	△239	△274	-	764	+337	
為替損益			△59	△8	+12	-	-	-	
有価証券売却・減損損失等※2			220	506	+374	-	-	-	
税効果			△25	△78	△60	-	-	-	
修正利益			562	179	+51	(+40.2%)	764	+202	

※1 損害率、事業費率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

※2 未実現損益を含む

(参考)
修正利益

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

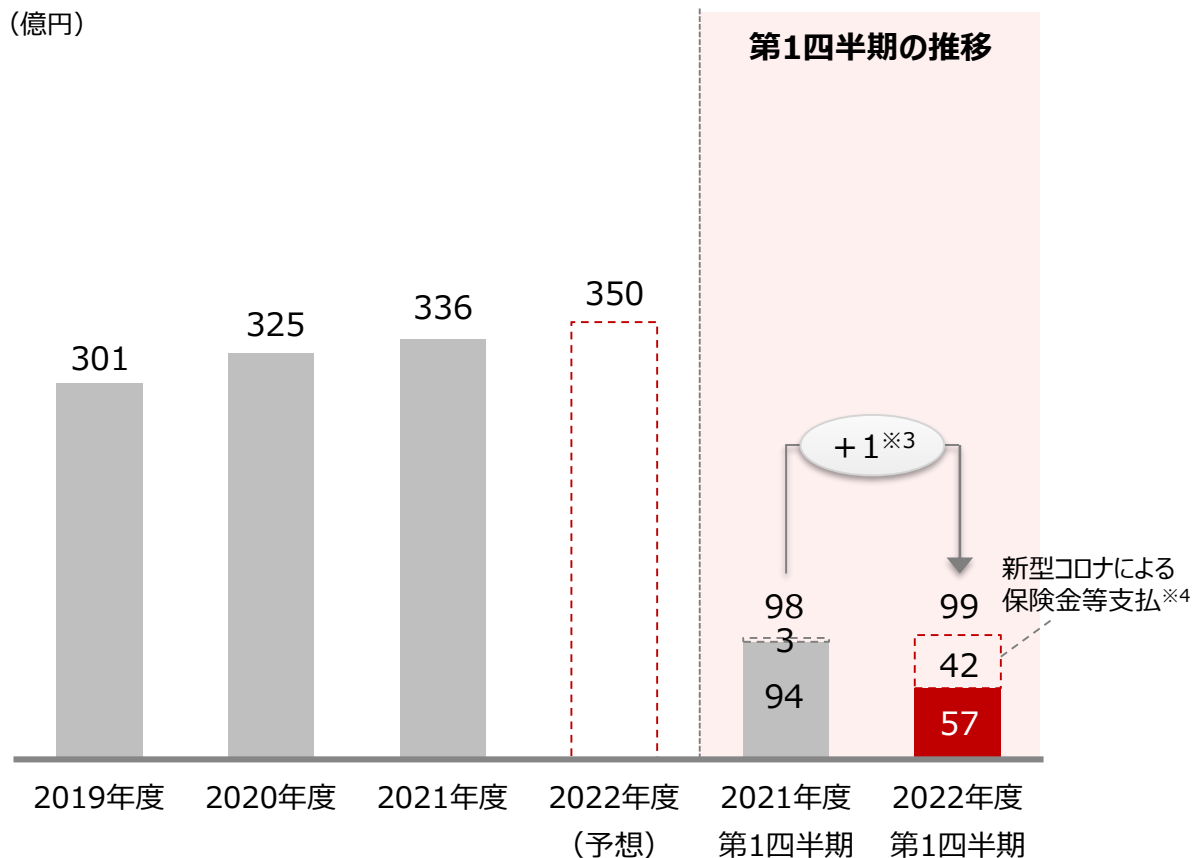
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

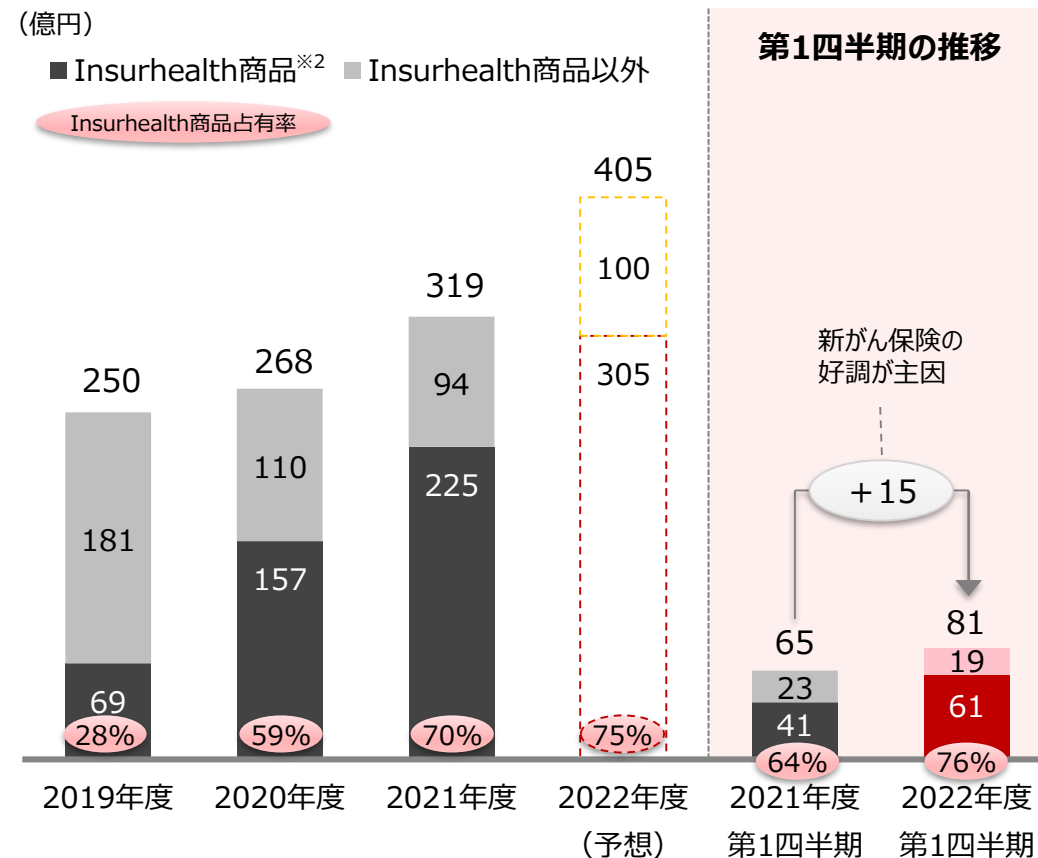
業績概要 (ひまわり生命)

- 新型コロナによる保険金等支払の増加影響を除くと、2022年度第1四半期の修正利益は+1億円増益
- 2021年10月発売の新がん保険などのInsurhealth®商品を中心に、新契約年換算保険料は引き続き拡大

修正利益※1



新契約年換算保険料



※1 2020年度以前は修正利益の定義変更影響調整後 (2021年度より有価証券売却損益・評価損を除外)

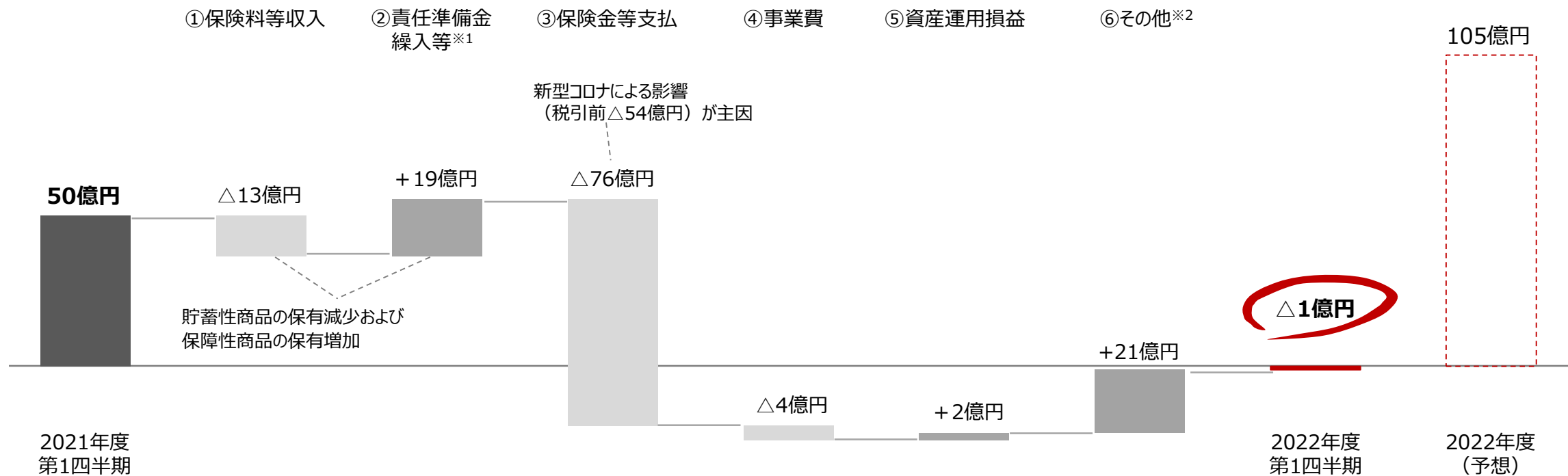
※2 保険本来の保障機能 (Insurance) に健康を応援する機能 (Healthcare) を組み合わせた新たな価値を提供する商品

※3 新型コロナによる保険金等支払の増加影響を除く

※4 税引後。なお、2022年度通期予想における新型コロナによる保険金等支払の前提は23億円

(参考) 当期純利益

当期純利益の増減要因



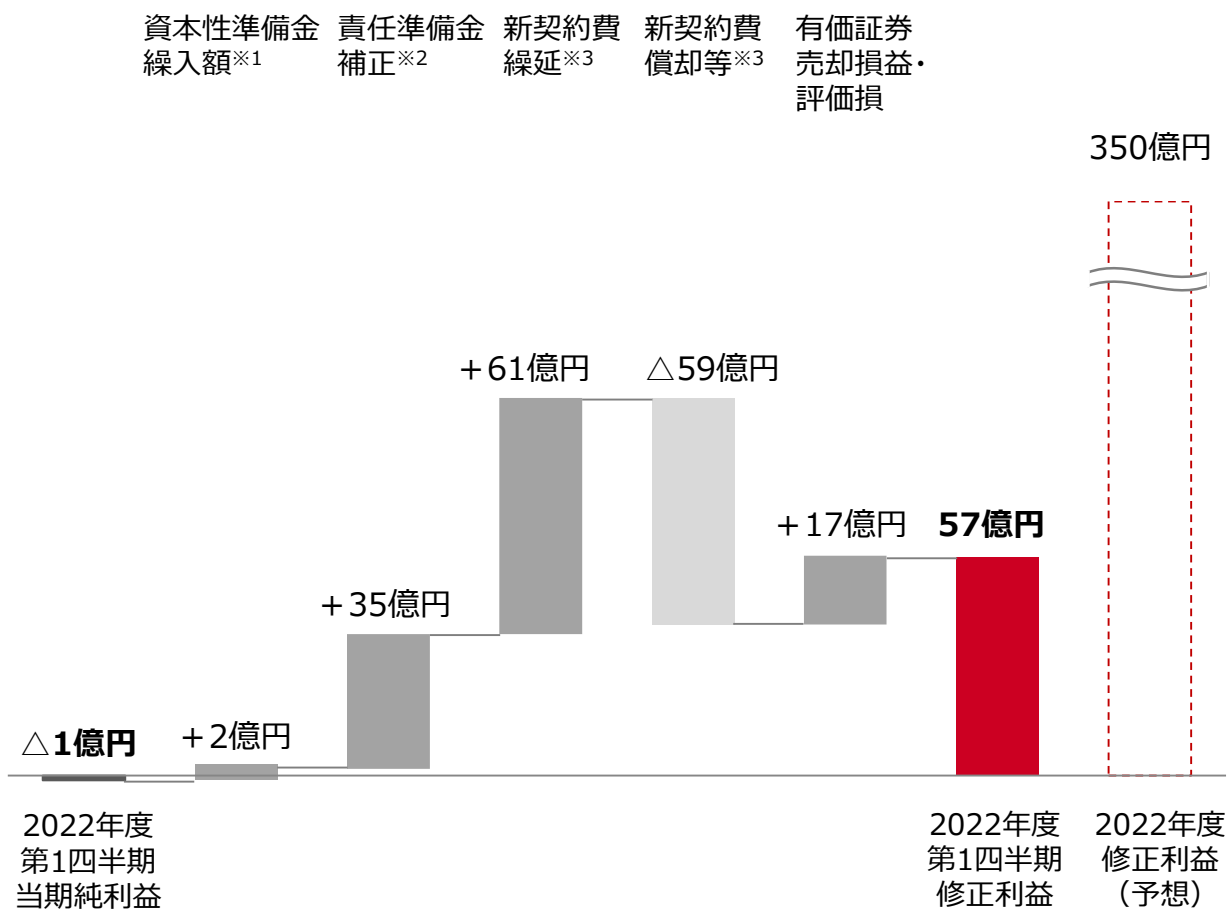
	①保険料等収入	②責任準備金繰入等	③保険金等支払	④事業費	⑤資産運用損益 (一般勘定)	⑥その他	当期純利益
2021年度第1四半期	1,051億円	△664億円	△189億円	△223億円	120億円	△43億円	50億円
2022年度第1四半期	1,037億円	△645億円	△266億円	△228億円	123億円	△21億円	△1億円
2022年度 (予想)	4,448億円	△2,825億円	△833億円	△1,049億円	500億円	△135億円	105億円

※1 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

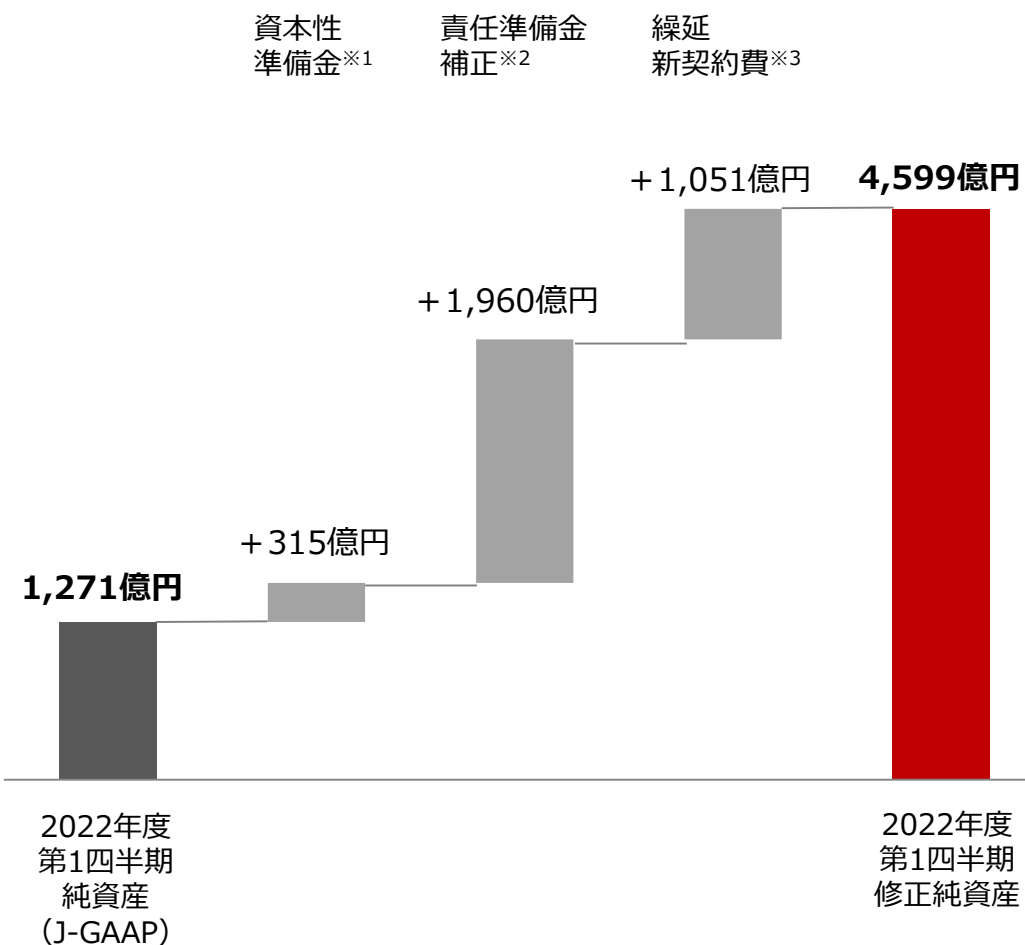
※2 その他の経常損益、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計

(参考) 修正利益・修正純資産

当期純利益から修正利益へのコンバージョン



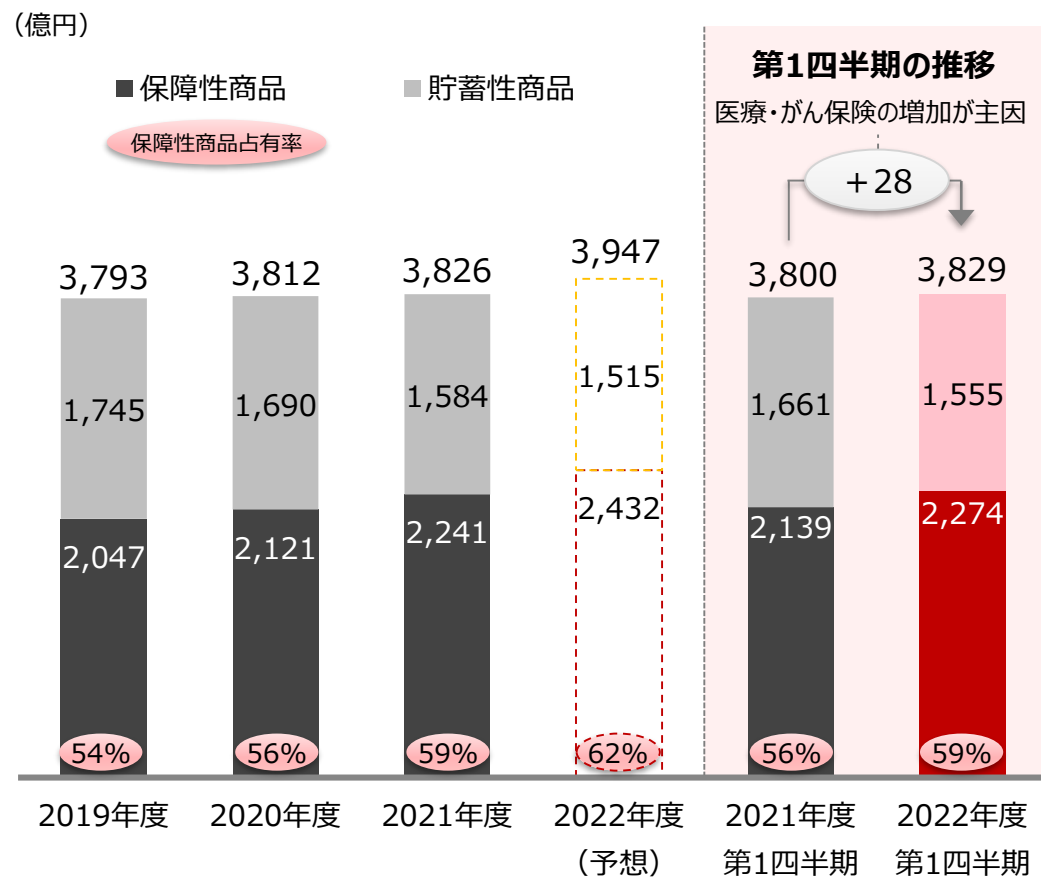
修正純資産



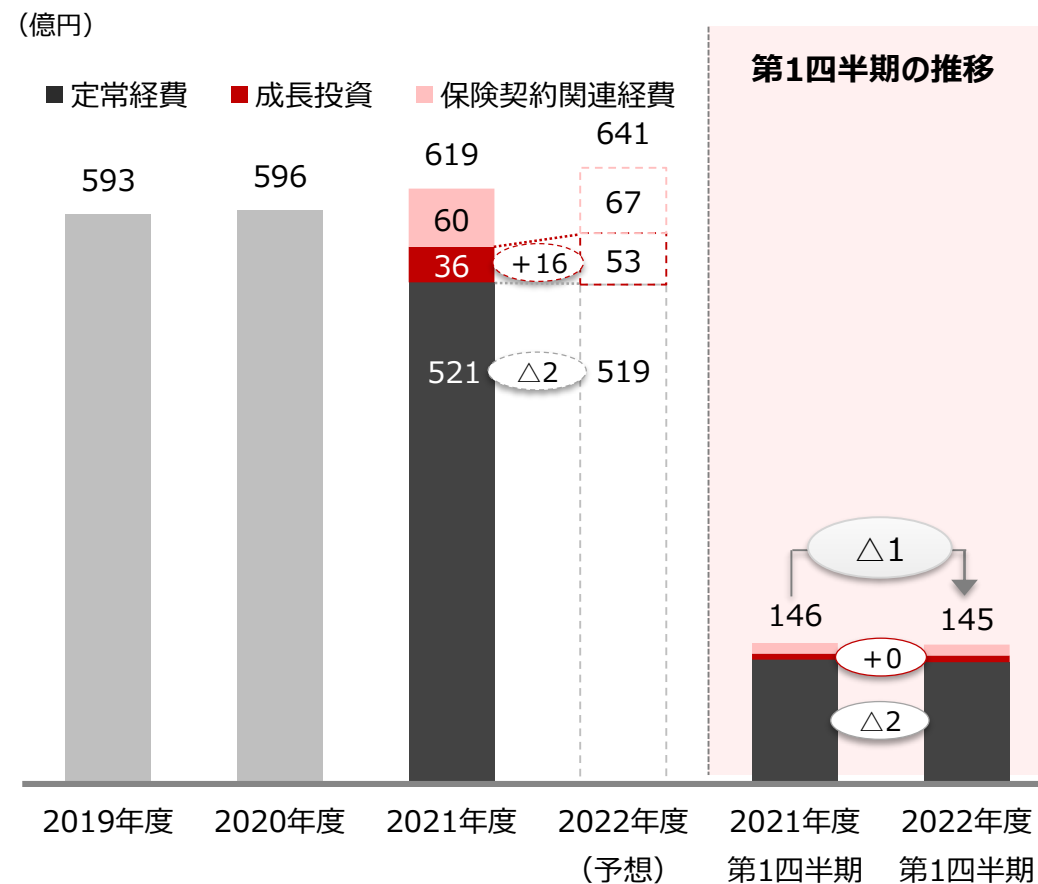
※1 危険準備金、価格変動準備金 (税引後)
 ※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算 (税引後)
 ※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却 (税引後)

(参考) 保有契約年換算保険料・一般事業費

保有契約年換算保険料の推移



一般事業費の推移



(参考) 決算数値

主要業績

(単位：億円)	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	増減		2022年度 (予想)
新契約年換算保険料	65	81	+15	(+24.0%)	405
保険料等収入※1	1,051	1,037	△13	(△1.3%)	4,448
責任準備金繰入等※2	664	645	△19	(△2.9%)	2,825
保険金等支払	189	266	+76	(+40.3%)	833
事業費	223	228	+4	(+2.2%)	1,049
資産運用損益	124	124	△0	(△0.3%)	518
(うち一般勘定)	120	123	+2	(+2.1%)	500
基礎利益※3	89	20	△68	(△76.5%)	225
経常利益※1	83	10	△73	(△87.4%)	187
当期純利益	50	△1	△52	(△102.4%)	105
修正利益	94	57	△37	(△39.4%)	350

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

※3 ヘッジコストを含む

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

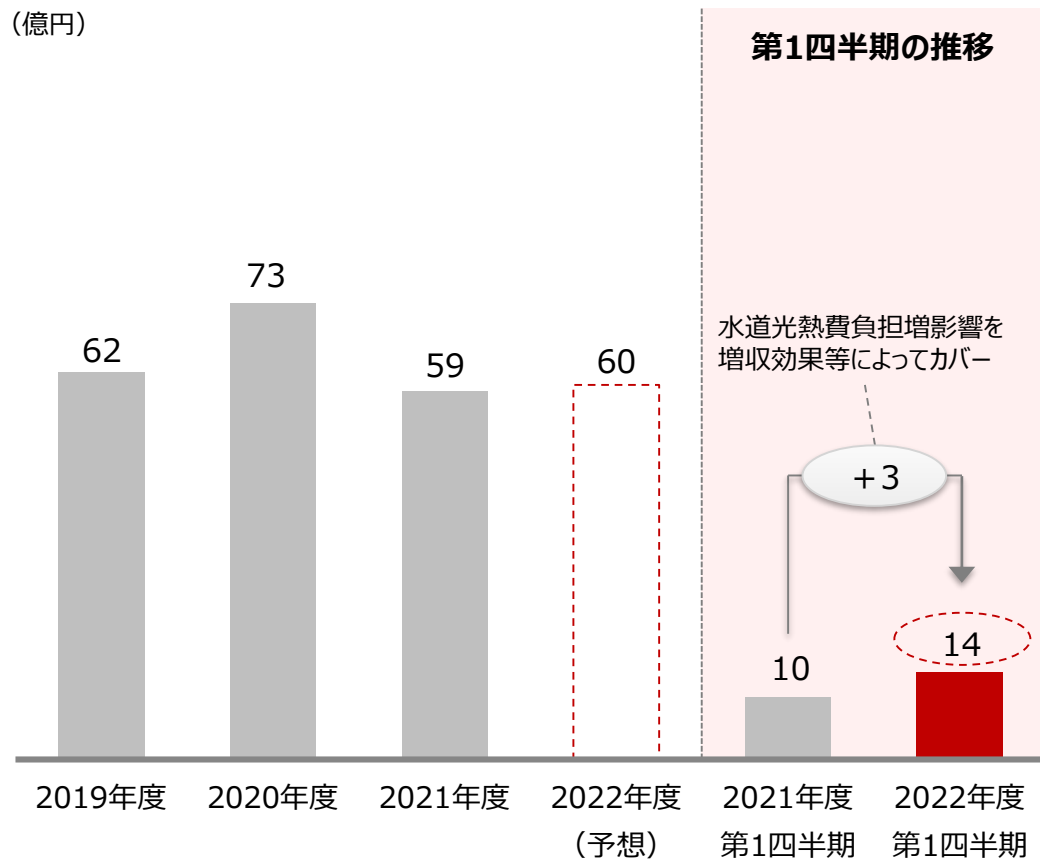
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

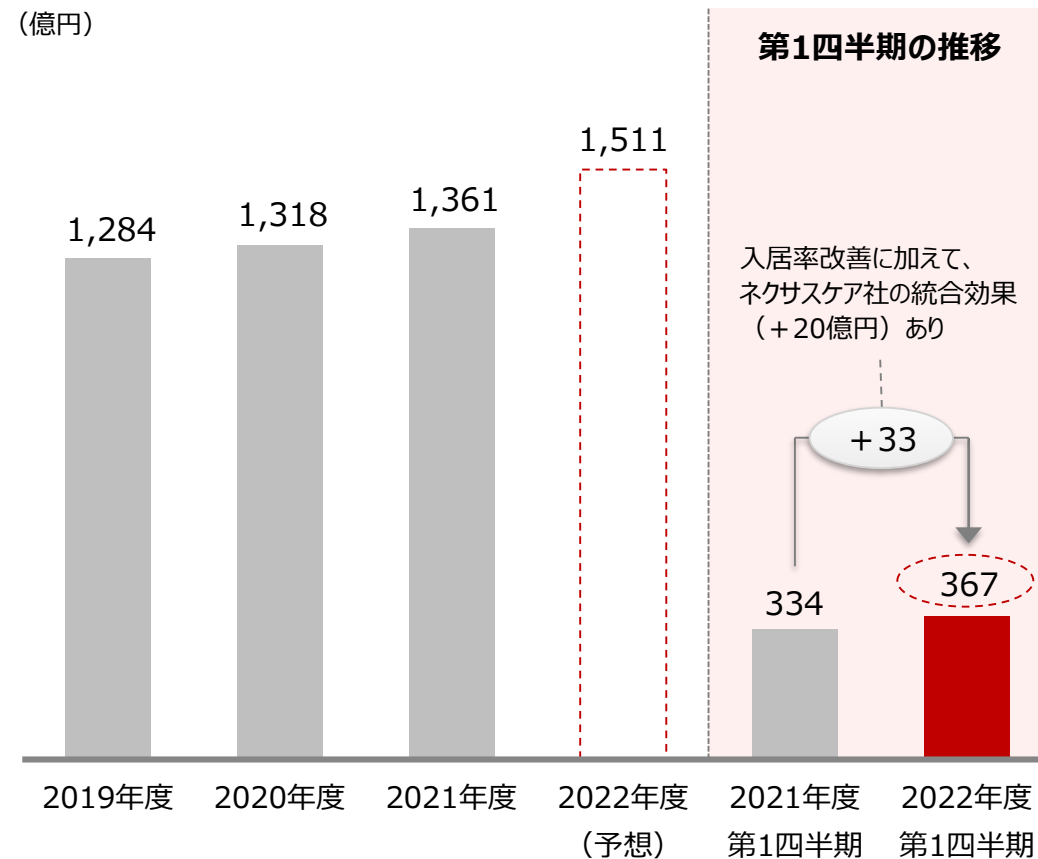
業績概況（介護・シニア事業）

- 入居率改善やネクサスクエア社の統合効果による増収を主因に、修正利益は+3億円増益

SOMPOケアの修正利益

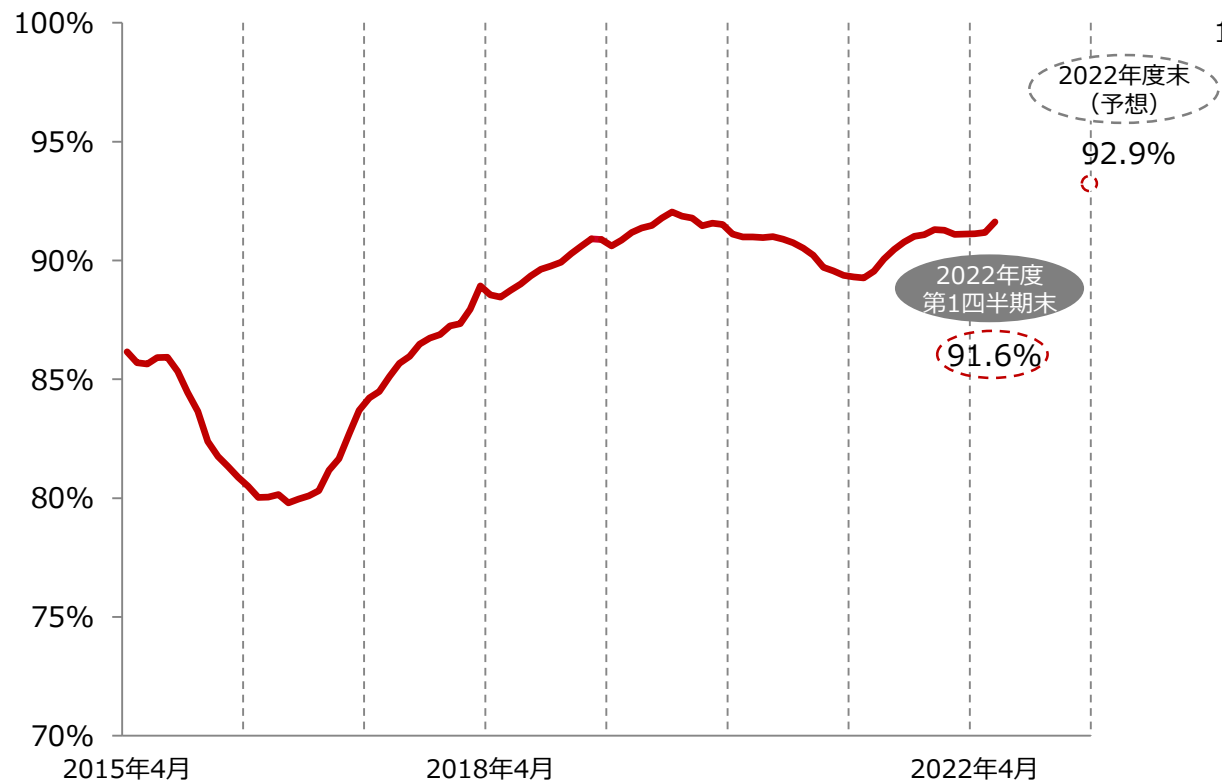


SOMPOケアの売上高

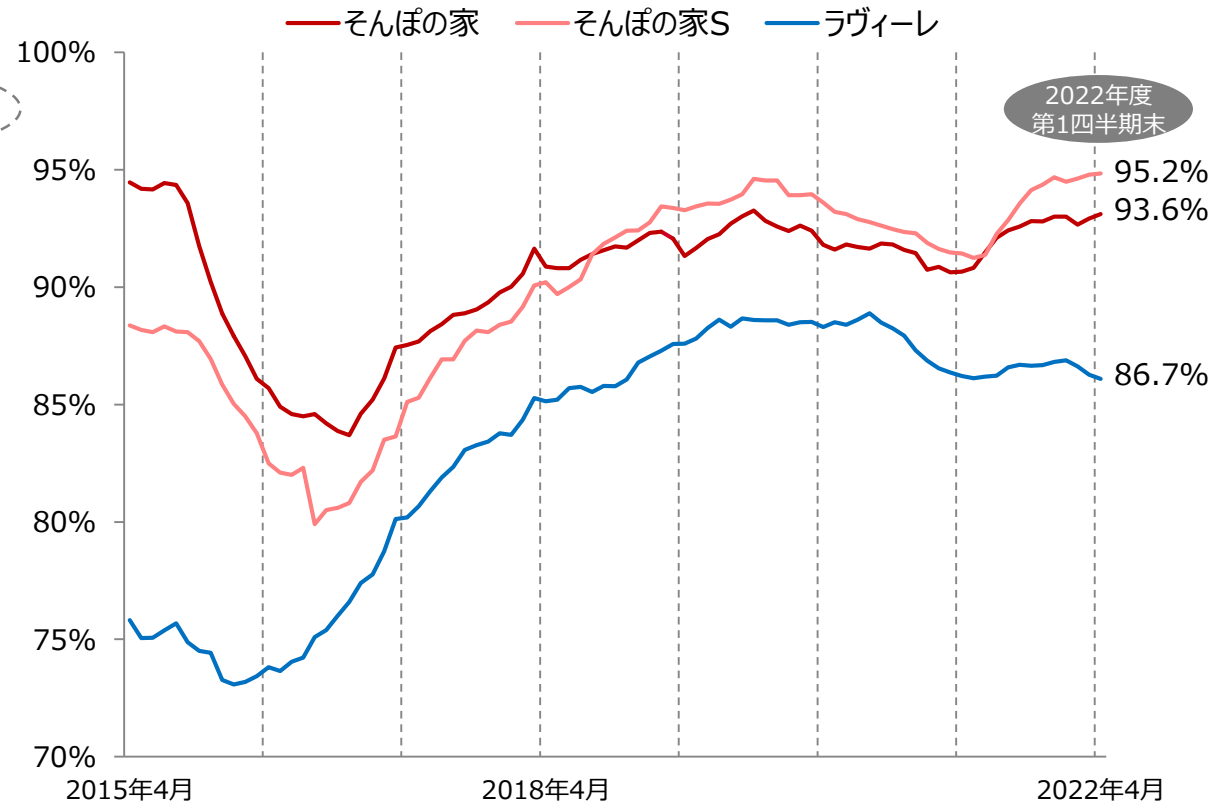


(参考) SOMPOケアの主要指標

入居率※1※2の推移



(参考) ブランド別入居率※3の推移



※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数
 ※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

※3 そんぽの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、
 そんぽの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

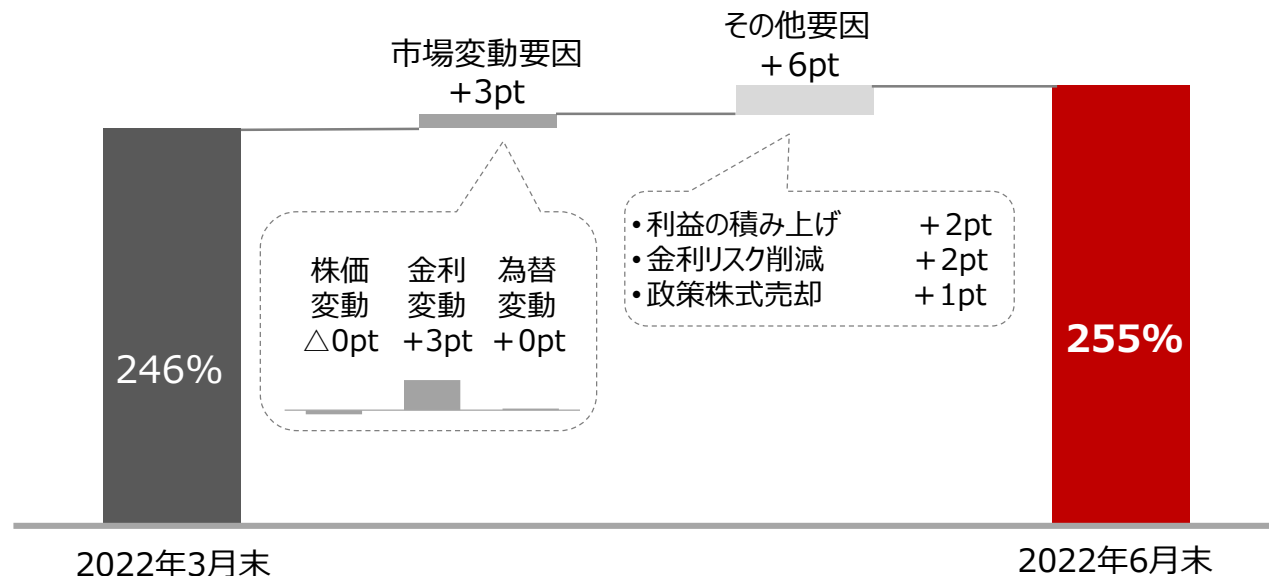
5. 介護・シニア事業

6. ERM・資産運用

財務健全性：ESR（99.5%VaR）

- 2022年6月末のESR（99.5%VaR）は255%

ESR（99.5%VaR）※1の推移



※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR（99.5%VaR）におけるターゲット資本水準は、200%～270%

270%水準：資本効率（修正連結ROE）の観点を踏まえた水準

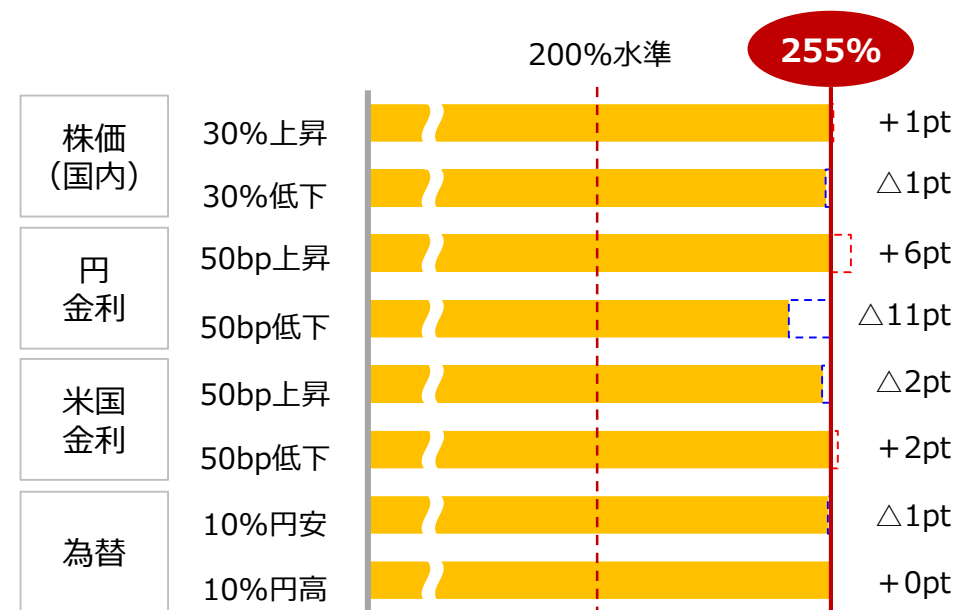
200%水準：ストレステストの結果などを踏まえ、財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

【270%超】 追加的リスクテイク（成長投資）の検討、積極的な株主還元の検討など

【200%未満】 各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

ESR（99.5%VaR）の感応度分析（2022年6月末時点）



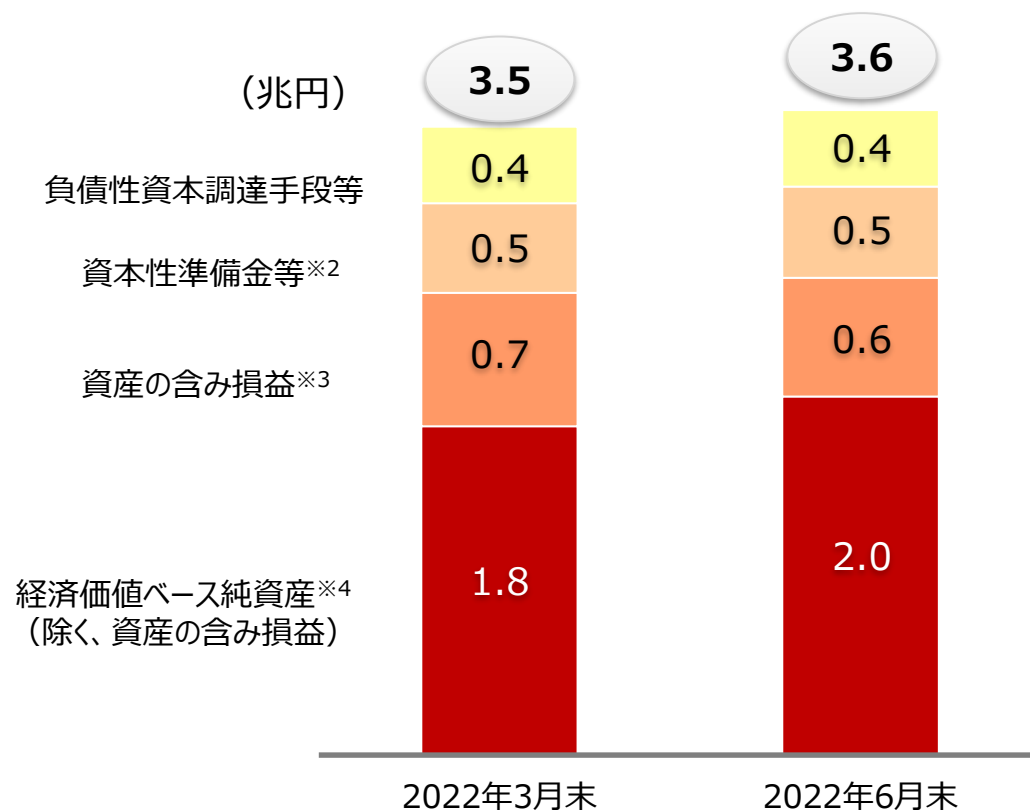
（参考）市場環境

（参考）市場環境	2022年6月末	（増減※2）
国内株価（TOPIX）	1,870.82	（△3.9%）
国内金利（30年物国債利回り）	1.21%	（+30bp）
米国金利（10年国債利回り）	3.01%	（+67bp）
為替（米ドル円レート）	136.68円	（+11.7%）

※2 2022年3月末対比

(参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

実質自己資本※1



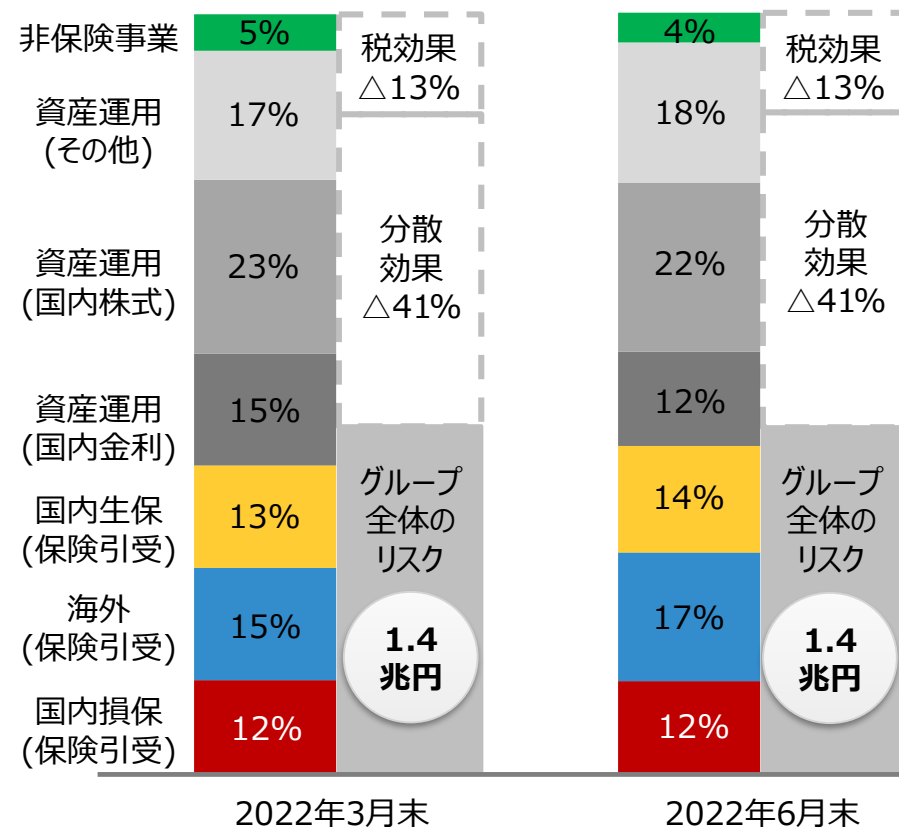
※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等
+ 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等

※2 価格変動準備金、異常危険準備金など (税引後)

※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益

※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

リスク量※5



※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測

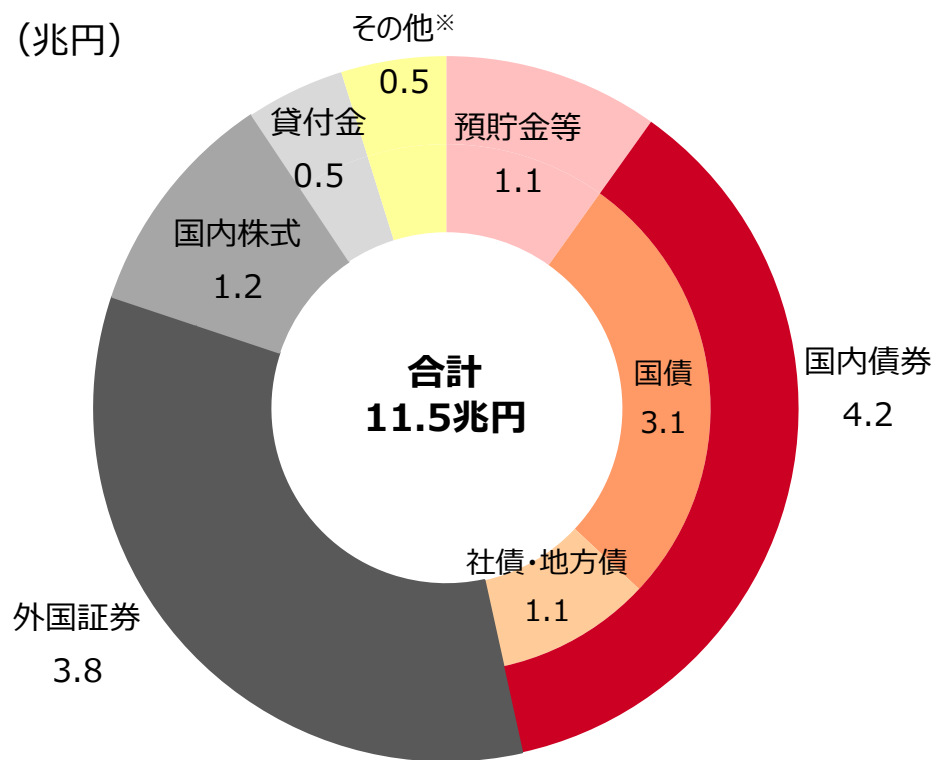
リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)

グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）

- 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

運用資産額（2022年6月末、グループ連結ベース）



グループ会社別運用資産額

(単位：億円)

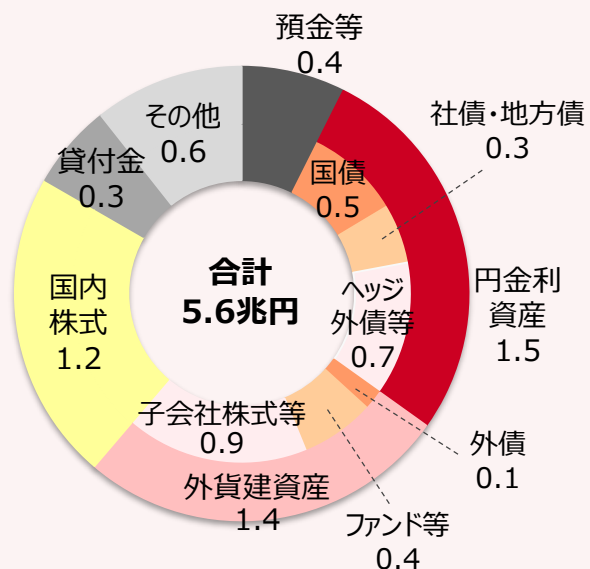
	運用資産額	構成比
損保ジャパン	53,915	47%
SI	20,557	18%
ひまわり生命（一般勘定）	36,912	32%
その他	4,532	4%
合計	115,917	100%

※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

(参考) 資産ポートフォリオ (主要各社別)

損保ジャパン (2022年6月末、単体ベース、一般勘定)

(兆円)



2022年 3月末 2022年 6月末

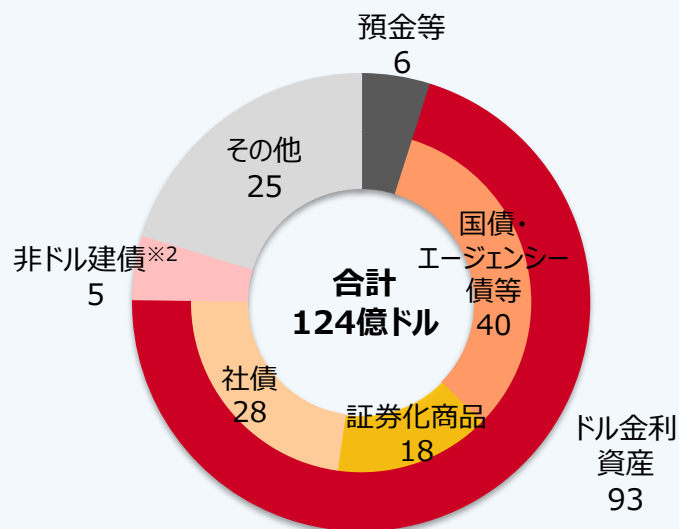
インカム利回り※1		3.0%	3.0%
デュレーション	資産	7.9年	7.7年
	負債	7.7年	8.0年

※1 海外グループ会社株式等を除く

(参考) 円金利資産、外貨建債券の格付構成：BB格以下の保有なし

SIコマースナル (2022年3月末)

(億ドル)



2021年 12月末 2022年 3月末

インカム利回り※3		3.0%	2.7%
デュレーション	資産	3.1年	3.5年
	負債	3.1年	2.8年

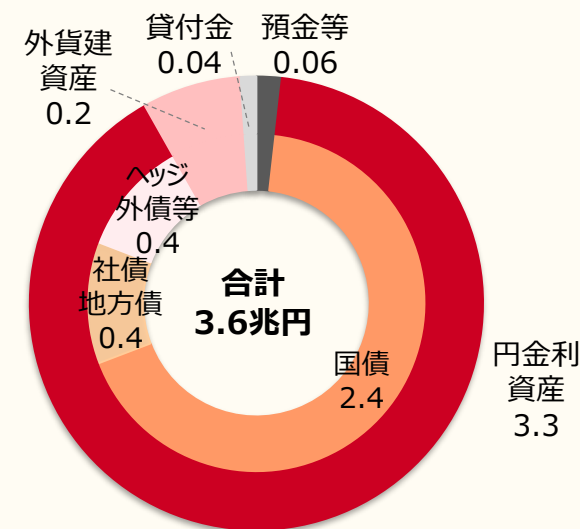
※2 一部預金含む

※3 一部ファンドの未実現損益等の変動を含む

(参考) 債券資産の格付構成：BB格以下は全体の10%

ひまわり生命 (2022年6月末、単体ベース、一般勘定)

(兆円)



2022年 3月末 2022年 6月末

インカム利回り		1.5%	1.5%
デュレーション	資産	16年	16年
	負債	24年	22年

(参考) 円金利資産、外貨建債券の格付構成：BB格以下の保有なし

(参考) 特別勘定の残高：255億円 (主に国内株式・債券で運用)

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

I R 室

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>